

TASCAM

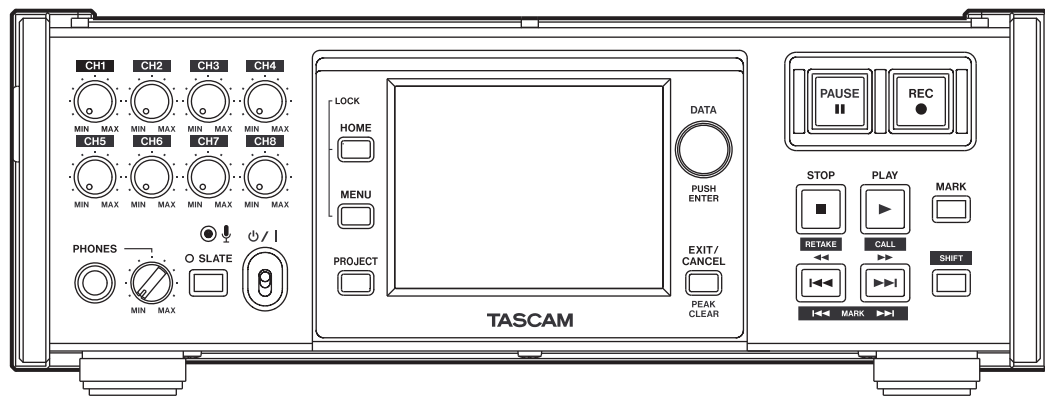
TEAC PROFESSIONAL

D01088901A

HS-P82

Portable Multitrack Field Recorder



取扱説明書






安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。




表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。






警告

	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器を使用できるのは、日本国内のみです。表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には、接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

	<p>この機器のカバーは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。</p>
	<p>この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。</p>

⚠ 注意

	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p>
	<p>オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>この機器は、コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）および電源コードセットをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。</p> <p>次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・ 湿気やほこりの多い場所 ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所 <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）および電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>5年に一度くらいは、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p>

電池の取り扱いについて

本製品は、電池を使用しています。誤った使用による発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

警告 (乾電池に関する警告)



乾電池は、絶対に充電しないでください。
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

警告 (電池に関する警告)



電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、電池ケースの表示されているとおりに正しく入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属製のものと接触しないように、テープなどで端子を絶縁してください。

使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法に従って捨ててください。



指定以外の電池は、使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
液が目に入った時には、失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が体や衣服に付いた時は、皮膚の怪我・やけどの原因になるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

電池の挿入や交換は、本機の電源を切った状態で行ってください。

長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。

もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

安全にお使いいただくために	2	第4章 録音と再生	23
電池の取り扱いについて	4	録音の準備をする.....	23
第1章 はじめに	7	CFカードのフォーマット	23
本機の概要	7	新規プロジェクトの作成	24
本製品の構成	7	マスタークロックの設定	25
本書の表記	7	録音トラックの設定	25
商標に関して	7	ファイルフォーマットの設定	26
設置上の注意	8	その他の録音設定	26
結露について	8	マイクとヘッドホンの接続	26
製品のお手入れ	8	入力の設定	27
ディスプレイのお手入れ	8	入力レベルの調節	28
CFカードについて	8	入力のモニター	29
取り扱い上の注意	8	録音する	29
動作確認メディアについて	8	録音	29
アフターサービス	8	録音の停止.....	29
第2章 各部の名称と機能	9	リテイク	29
フロントパネル	9	ボイズメモ/スレートトーン機能	29
リアパネル	10	再生する	30
右サイドパネル	11	プロジェクト/シーン/テイクの選択	30
左サイドパネル	12	再生	30
ホーム画面	13	再生音のミキシング	31
第3章 準備	16	コール	31
CFカードをセットする/取り出す	16	第5章 プロジェクト	32
CFカードをセットする.....	16	プロジェクトについて	32
CFカードを取り出す.....	16	ファイルフォーマットについて	32
電源供給について	17	モノフォニックモードとポリフォニックモード	32
ACアダプターで使用する	17	プロジェクト画面について	32
内蔵電池で使用する	17	プロジェクト選択画面	32
使用できる電池/バッテリー.....	17	シーン選択画面	33
バッテリーの入れ方.....	18	テイク選択画面	33
バッテリーの取り外し方	18	プロジェクトの操作	33
電池の入れ方 (バッテリーケース BC-10AA)	18	新規プロジェクトを作成する	33
電池についての注意	18	プロジェクト名を編集する	34
外部DC電源で使用する	18	後からプロジェクト名を変更する.....	34
V-Mountタイプバッテリーの取り付け方.....	18	最初に作るシーン名を編集する	35
ディスプレイについて.....	19	プロジェクトをロードする	35
ディスプレイの角度を調節する.....	19	プロジェクトを再構築する	35
ディスプレイとインジケータの輝度調節	19	プロジェクトを削除する	36
ディスプレイについての注意.....	19	シーンの操作	36
電源のオン/オフ.....	20	新規のシーンを作成する	36
内蔵時計の時刻を設定する	20	シーンをロードする	37
バッテリー設定 (BATTERY)	21	シーンを再構築する	37
パネルロック機能	22	シーンをコピーする	38
DIGITAL I/O端子について.....	22	シーンを削除する	38
録音時間について.....	22	シーンを削除する	38
		テイクの操作	39
		テイクをロードする	39
		テイクを削除する	39
		テイク名に@を付ける/削除する	39

第6章 内部設定詳細	40	第9章 トラブルシューティング	56
メニュー画面	40	第10章 メッセージ	57
録音設定 (REC SETUP)	40	第11章 仕様	62
REC TRACKSタブ画面	40	定格	62
FILE FORMATタブ画面	40	入出力定格	62
OPTIONSタブ画面	41	アナログオーディオ入出力	62
再生設定 (PLAY SETUP)	41	デジタルオーディオ入出力	62
シンク、タイムコード設定 (SYNC/TC)	41	コントロール入出力	63
CLOCKタブ画面	41	オーディオ性能	63
TIMECODEタブ画面	42	動作条件	63
SETUPタブ画面	42	一般	63
I/Oタブ画面	43	寸法図	64
T/C USER BITSの編集	43	ブロックダイアグラム	65
START TIMEの編集	44		
ミキサー設定 (MIXER SETUP)	44		
INPUTタブ画面	44		
SIGNAL PROCESSINGタブ画面	44		
LOW CUT FILTER (ボタン)	45		
SETUPタブ画面	45		
CHx NAME (ボタン)	45		
チャンネル設定 (CHANNEL SETUP)	46		
レベルメーター設定 (METER SETUP)	47		
システム設定 (SYSTEM SETUP)	47		
PREFERENCESタブ画面	47		
ALARM TONEタブ画面	48		
CLOCK ADJUSTタブ画面	48		
CFカード、USB接続の管理 (CF/USB MANAGE)	49		
バージョン表示 (VERSION)	49		
第7章 マーク機能とロケート機能	50		
マーク機能	50		
マークを付ける	50		
キー操作によるマークポイントへのロケート	50		
マークリスト画面	50		
マークポイントにロケートする	50		
マークポイントの情報を見る	50		
マークポイントを削除する	51		
マークポイントを編集する	51		
マニュアルロケート機能	52		
第8章 パソコンを使った送受信	53		
必要なパソコンシステム	53		
パソコンと接続する	53		
接続を解除する	54		
フォルダ構成	55		
ファイル名	55		

このたびは、TASCAM Portable Multitrack Field Recorder HS-P82をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 記録メディアにCFカードを採用 (Ultra DMA対応)
- Fs : 44.1k/48k/48k pull-down/48k pull-up/88.2k/96k/176.4k/192kHzの16/24ビット録音が可能
- 8ch (入力) +2ch (ステレオ・ミックス) の最大10ch録音可能 (Fs : 44.1k/48kHz時)
- +48Vファントム電源対応マイク/ライン入力
- 3.5インチTFTカラーの大型高視認性ディスプレイ
- タッチパネル・インターフェースによる直感的な操作を実現
- 内蔵電池に単3形電池 x10本 (バッテリーケース BC-10AAを使用) またはNPタイプバッテリーを使用可能
- 外部DC電源入力端子 (XLR-4-32)
- BWF (Broadcast Wave Format) に対応
- ボイスメモに便利な内蔵マイク (モノラル) 搭載
- SMPTEタイムコード入出力
- プリ・レコーディング機能
- デジタル入力部にサンプル・レート・コンバータ搭載
- USB2.0端子によるPCとのファイル転送
- PCキーボード (PS/2) 端子
- 突然の電源遮断によるファイル消失防止

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- | | |
|-----------------------------|----|
| ● 本体 | x1 |
| ● ACアダプター (TASCAM PS-1225L) | x1 |
| ● ACアダプター用電源コード | x1 |
| ● バッテリーケース (TASCAM BC-10AA) | x1 |
| ● V-Mountブラケット | x1 |
| ● V-Mountブラケットビスキット | x1 |
| ● 保証書 | x1 |
| ● 取扱説明書 (本書) | x1 |

注意

本機には必ず、付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-1225L)とACアダプター用電源コードをご使用ください。また、付属のACアダプターとACアダプター用電源コードを他の機器

に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のキー/端子などを「MENUキー」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“ON”のように“_”で括弧で表記します。
- 「コンパクトフラッシュカード」のことを「CFカード」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMは、ティアック株式会社の登録商標です。
- CompactFlash® (コンパクトフラッシュ) は、米SanDisk社の登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows XP, Windows Vista および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple, Macintosh, Mac OS および MacOS X は、Apple Inc. の商標です。
- IDXおよびV-Mountは、株式会社アイ・ディー・エックスの登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは、各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所や不安定な場所。
 - 長時間直射日光が当たる場所。
 - 暖房機器のそばなどの極端に温度が高い場所。
 - 極端に温度の低い場所。
 - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所。
 - ホコリの多い場所。
 - 直接雨などの水が当たる場所。
- 放熱を良くするために、本製品の上には、物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

ディスプレイのお手入れ

ディスプレイは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布（クリーニングクロスなど）で軽く拭きます。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると液晶の表面に傷がつきますので注意してください。また、ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。

CFカードについて

取り扱い上の注意

CFカードは、精密にできています。カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いにあたって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などCFカードにアクセス中に抜き差しはしないこと

動作確認メディアについて

本機は、CFカードを使って録音／再生を行います。

マイクロドライブは、使うことができません。

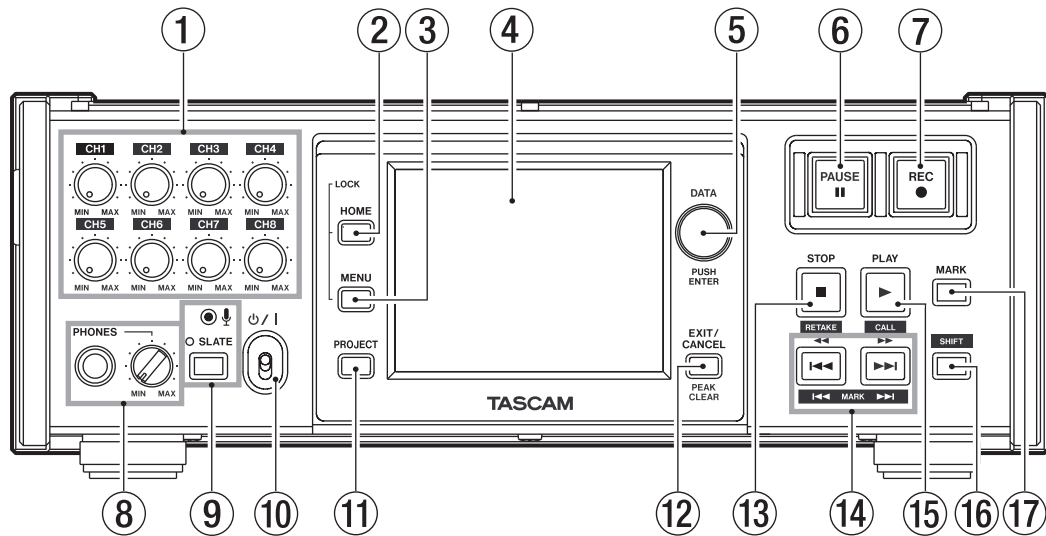
なお、古いCFカードや一部のCFカードの中には、動作スピードの遅いメモリー部品を使っていたり、内部バッファ容量の小さいものがあります。こうしたCFカードを使うと、HS-P82の録音性能に影響を及ぼす可能性があります。新しいCFカード（特に高密度DSLRカメラ用に作られているもの）は、読み書きスピードが速いだけでなく、保存容量も大きくなっています。タスカムのウェブサイトには、当社でテスト済みのCFカードのリストが掲載されていますのでご参照ください。または、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。

(<http://www.tascam.jp/>)

アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグを抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
 - 型名、型番（HS-P82）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

フロントパネル



① インプットトリムつまみ

アナログマイク入力の入力レベルを調節します。
(→ 28ページ「入力レベルの調節」)

② HOMEキー

ホーム画面を表示します。HOMEキーを押しながらMENUキーを押すと、“LOCK SETUP”画面を表示します。(→ 22ページ「パネルロック機能」)
このキーを押しながらDATAダイヤルを回すとカラーディスプレイとPAUSEキー、RECキー、PLAY [CALL] キー、SLATEインジケータの輝度が調節できます。
このキーを押しながらDATAダイヤルを押し回しすると、カラーディスプレイのみの輝度が調節できます。

③ MENUキー

“MENU”画面を表示します。
HOMEキーを押しながらMENUキーを押すと、“LOCK SETUP”画面を表示します。(→ 22ページ「パネルロック機能」)

④ カラーディスプレイ

解像度320x240ドットのタッチセンサー付き3.5インチTFTカラーディスプレイです。
各種情報を表示します。

⑤ DATAダイヤル

回すとDATAダイヤルとして働き、押すとENTERキーとして機能します。パラメーターの値を設定するときに、押しながら回すと大まかな設定ができます (COARSEモード)。
ポップアップウィンドウ表示中は、“OK”または“CLOSE”ボタンと同じ動作をします。
HOMEキーを押しながらこのダイヤルを回すと、カラーディスプレイとPAUSEキー、RECキー、PLAY [CALL] キー、SLATEインジケータの輝度が調節できます。
HOMEキーを押しながらこのダイヤルを押し回しするとカラーディスプレイのみの輝度が調節できます。

⑥ PAUSEキー／インジケータ

再生中にこのキーを押すと、再生待機になり、キーが点灯します。
録音中にこのキーを押すと、録音待機になり、キーが点灯します。
停止中にこのキーを押すと、録音待機になり、キーが点灯します。

⑦ RECキー／インジケータ

録音可能なCFカードがセットされていて、停止しているときにこのキーを押すと、新しいファイルへの録音を開始し、キーが点灯します。
録音待機しているときにこのキーを押すと、新たなファイルまたは現在のファイルへの録音を再開し、キーが点灯します。
録音中にこのキーを押すと、録音は継続したままですが、現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルへの録音を開始します。

注意

- 録音開始から4秒未満でRECキーを押した場合には、次のテイクの録音を開始しません。
- テイク番号999のファイルが存在する場合は、次のテイクの録音ができせん。

⑧ PHONESジャック／つまみ

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ホンジャックです。PHONESつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

- ### ⑨ SLATEキー／インジケータ、およびSLATEマイク
- SLATEキーを押している間、インジケータが点灯し、SLATEマイクからの音またはスレートトーン (内蔵オシレーター) 信号を、録音対象トラックに入力します。

メモ

- SLATEキーは、誤操作防止のためしばらく押し続けないとオンになりません。
- スレートマイクからの音／スレートトーン (内蔵オシレーター) 信号のどちらを録音するかは、“SYSTEM SETUP”画面の“PREFERENCES”タブ画面で設定します。(→ 47ページ「PREFERENCESタブ画面」)

第2章 各部の名称と働き

⑩ 〇/|スイッチ

電源をオン/オフします。

電源オフ時は、電源をオフにするかどうかのポップアップウィンドウを表示されます。

⑪ PROJECTキー

“PROJECT”画面を表示します。(→32ページ「プロジェクト画面について」)

⑫ EXIT/CANCEL [PEAK CLEAR] キー

入力や項目の選択をキャンセルします。

ホーム画面では、レベルメーターのピークホールド表示のリセットボタンとして動作します。

“MENU”画面や“PROJECT”画面で押すと、ホーム画面に戻ります。それ以外の画面では、呼び出し元の画面に戻るキーとして動作します。

ポップアップウィンドウ表示中は、“CANCEL”ボタンと同じ動作をします。

⑬ STOP [RETAKE] キー

録音や再生を停止します。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、リテイク（最後に録音したテイクを削除する）を実行します。

録音中にこのキーを押すと、録音を停止し、最後に録音を開始したファイルの先頭で停止状態になります。

⑭ ◀◀ [I◀◀] キー（早戻しサーチ）

停止中/再生待機中/再生中に

- 短く押すと、現在のテイク（ファイル）の先頭または前のファイルにスキップし、テイク（ファイル）の先頭で停止/再生待機、またはファイルの先頭から再生を開始します。
- 長く押すと、押している間早戻しサーチを行います。
- SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、一つ手前のマークポイントに移動し、停止/再生待機、または再生を開始します。

⑭ ▶▶ [▶▶I] キー（早送りサーチ）

停止中/再生待機中/再生中に

- 次のテイク（ファイル）にスキップし、テイク（ファイル）

の先頭で停止/再生待機、またはファイルの先頭から再生を開始します。

- 長く押すと、押している間早送りサーチを行います。
- SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、一つ先のマークポイントに移動し、停止/再生待機、または再生を開始します。

⑮ PLAY [CALL] キー/インジケーター

停止/再生待機中にこのキーを押すと、再生を開始し、キーが点灯します。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、コール（最後に再生待機状態から再生を開始したポイントにロケートする）を実行します。

録音待機中にこのキーを押すと、録音を開始します。録音中は、PLAYキーは点灯しません。

⑯ SHIFTキー

停止中/再生待機中/再生中に

- このキーを押しながら◀◀ [I◀◀] キーを押すと、一つ手前のマークポイントに移動し、停止/再生待機、または再生を開始します。
- このキーを押しながら▶▶ [▶▶I] キーを押すと、一つ先のマークポイントに移動し、停止/再生待機、または再生を開始します。
- このキーを押しながらPLAY [CALL] キーを押すと、コール（最後に再生待機状態から再生を開始したポイントにロケートする）を実行します。
- このキーを押しながらSTOP [RETAKE] キーを押すと、リテイク（最後に録音したテイクを削除する）を実行します。

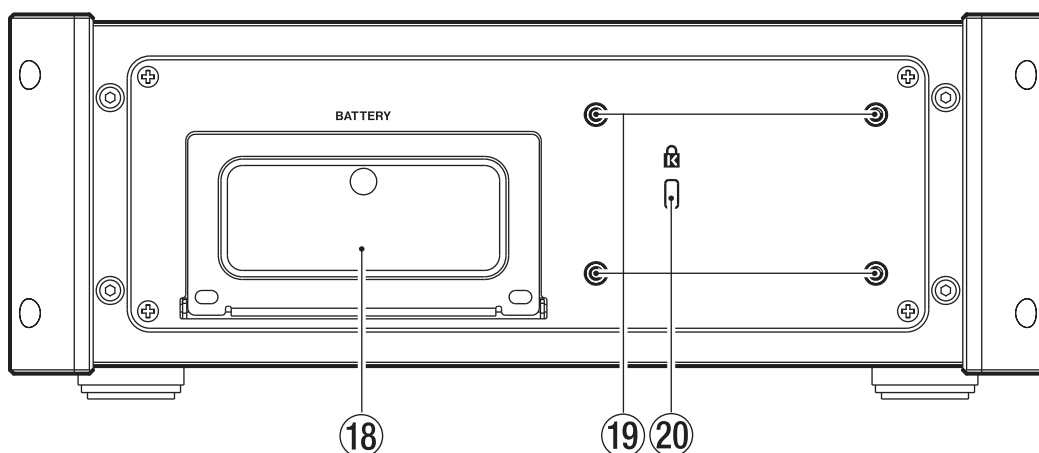
⑰ MARKキー

このキーを押すと、その時刻にマークを付けます。

マークポイントは、オートマークポイントと合わせて1ファイル（テイク）あたり、最大99個まで付けることができます。

(→50ページ「マーク機能」)

リアパネル



⑱ バッテリースロット

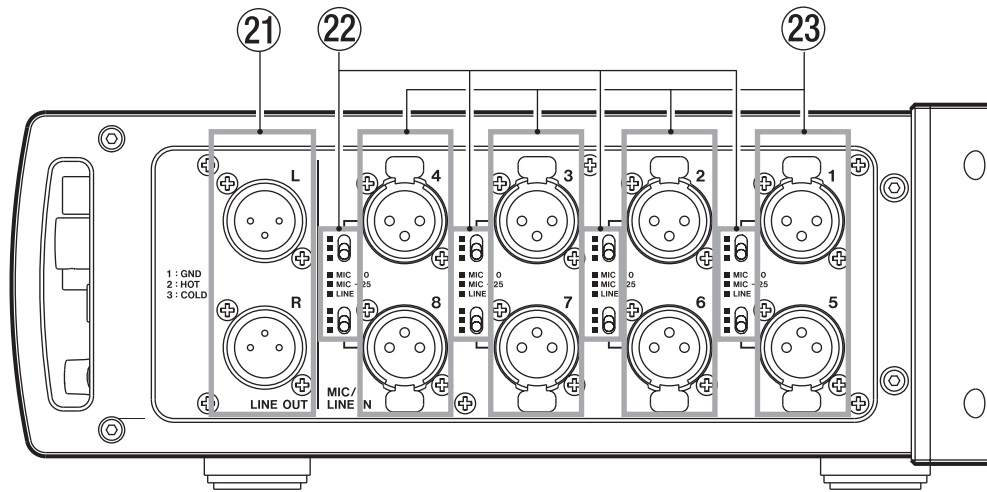
ふたを開けて、バッテリーを挿入します。使用できるバッテリーについては、17ページ「使用できる電池/バッテリー」をご参照ください。

⑲ V-Mountブラケット取り付け穴

本体に付属のV-Mountブラケットを取り付けることができます。(→18ページ「V-Mountタイプバッテリーの取り付け方」)

⑳ ケンジントンロック装着穴

右サイドパネル



②① LINE OUT端子

アナログ出力端子 (XLRバランス) です (1:GND、2:HOT、3:COLD)。

内部でステレオにミックスされた信号を出力します。
モニタースピーカーシステムなどを接続します。

②② MIC/LINE選択スイッチ

入力信号に合わせてこのスイッチを設定します。

MIC 0 : マイク入力時に設定します。

MIC -25 : マイク入力時に設定します。-25dBのパッド付きマイク入力です。

LINE : ライン入力時に設定します。

②③ MIC/LINE IN端子

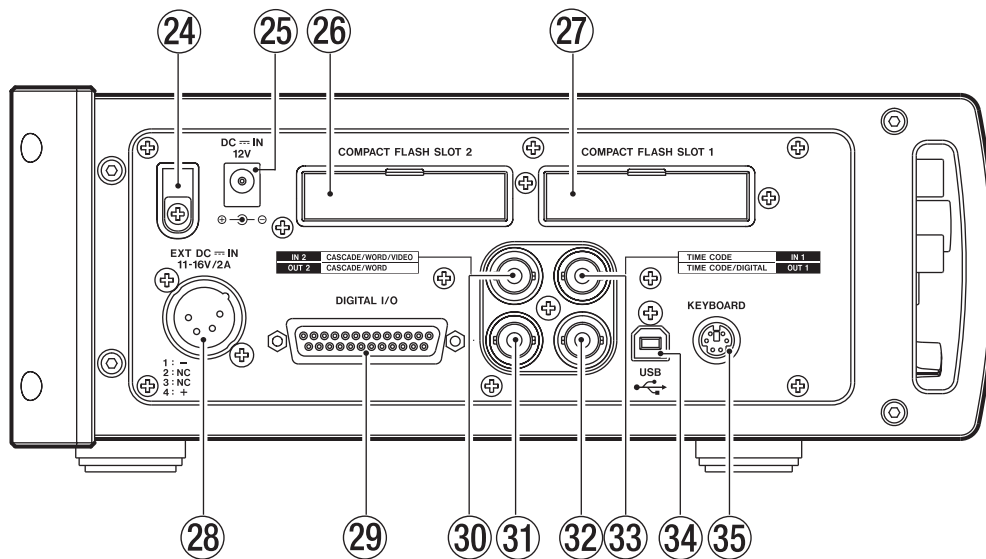
アナログ入力端子 (XLRバランス) です (1:GND、2:HOT、3:COLD)。

規定入力レベルおよび最大入力レベルは、MIC/LINE選択スイッチによって変わります。

注意

- **MIC/LINE IN**端子にライン機器を接続する場合は、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でライン機器を接続すると、ライン機器および本機の故障の原因になります。
- **MIC/LINE IN**端子にコンデンサーマイクを接続したり、接続しているコンデンサーマイクを外すときは、ファントム電源がオフになっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でマイクを接続したり接続を外したりすると、マイクおよび本機の故障の原因になります。
- ファントム電源が供給されているXLRコネクタにアンバランスのダイナミックマイクを接続しないでください。マイクおよび本機の故障の原因になります。

左サイドパネル



②④ コードホルダー

付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）のコードを引っ掛けてプラグの抜け落ちを防止します。

②⑤ DC IN端子

付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）を接続します。

②⑥ COMPACT FLASH SLOT2 (CF2)

CFカードを挿入します。

②⑦ COMPACT FLASH SLOT1 (CF1)

CFカードを挿入します。

②⑧ EXT DC IN端子

外部DC電源を接続します。

出力電圧がDC11-16Vで、出力電流が2A以上のものをお使いください。

コネクタは、XLR-4-32（1:-、2:NC、3:NC、4:+）です。

②⑨ DIGITAL I/O端子

D-sub 25ピンのAES3-2003/IEC60958-4（AES/EBU）フォーマットのデジタルオーディオ入出力端子です。

サンプリング周波数が88.2k/96kHz時はダブルスピード、176.4k/192kHz時はクワッドスピードでの転送となります。

デジタル入力部は、32k～216kHzに対応したサンプリングレートコンバーターを搭載しています。

③⑩ CASCADE/WORD/VIDEO IN (IN 2) 端子

BNCタイプのカスケード、ワードクロック、ビデオリファレンス信号入力端子です。ワードクロック信号（44.1k/48k/48k pull-down/48k pull-up/88.2k/96k/176.4k/192kHz）、ビデオリファレンス信号（NTSC/PALのブラックバースト信号、HDTV Tri-Level信号）を入力します。

③⑪ CASCADE/WORD OUT (OUT 2) 端子

ワードシンク信号（44.1k/48k/48k pull-down/48k pull-up/88.2k/96k/176.4k/192kHz）を出力します。

③⑫ TIME CODE/DIGITAL OUT (OUT 1) 端子

BNCタイプのSMPTEタイムコード出力端子です。

内部設定により、AES3-2003/AES-3id-2001（AES/EBU）フォーマットのデジタルオーディオ信号を出力することもできます。サンプリング周波数が88.2/96kHz時はダブルスピード、176.4k/192kHz時はクワッドスピードでの転送となります。

③⑬ TIME CODE IN (IN 1) 端子

BNCタイプのSMPTEタイムコード入力端子です。

③⑭ USB端子

USB2.0ケーブルを使ってパソコンと接続します。パソコンからは、本機はマストレージ機器として認識されます。ドライバソフトウェアは必要ありません。CFカードスロットを2基搭載しているため、パソコン側からは、最大2つのUSBデバイスとして認識されます。

USB接続を通して、本機のCFカード上のオーディオファイルをパソコンに転送することができます。

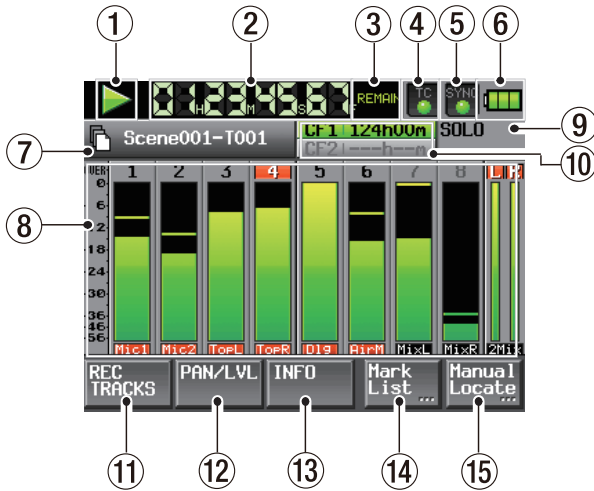
③⑮ KEYBOARD端子

IBM PC互換機用、PS/2インターフェースのキーボードを接続します。プロジェクト名、シーン名、チャンネル名などの入力に使用します。

初期設定は、USキーボード用に設定されています。USキーボードは、日本語用のキーボードと配列が異なるため、日本語用キーボードを使う場合には、“SYSTEM SETUP”画面（システム設定画面）の“PREFERENCES”タブ画面で設定を変更してください。

ホーム画面

HOMEキーを押すとホーム画面を表示します。



[再生中のホーム画面]

① トランスポートステータス表示

現在のトランスポートの状態を表示します。

- 再生時
- 再生待機時
- 停止時
- 早戻し時
- 早送り時
- 録音時
- 録音待機時

② タイムカウンター表示 (ボタン)

現在の時間を、経過時間、または残り時間で表示します。
この部分を押すと、時間表示モードを切り換えます。

③ タイムモード表示 (ボタン)

現在の時間表示モードを表示します。
この部分を押すと、時間表示モードを切り換えます。

- 表示なし：テイク先頭からの経過時間
- REMAIN**：テイク終端までの残り時間、録音時は Max Fileまでの残り時間
- TOTAL**：Total：Scene先頭からの経過時間
- TOTAL REMAIN**：Total Remain：Scene終端までの残り時間、録音時は現在の録音設定で、現在選択されているCFカードに録音できる残り時間。
- T/C**：TIMECODE：録音・再生ファイルのタイムコード時刻を表示します。

④ タイムコード状況表示 (ボタン/インジケーター)

- TC** 正しいタイムコードが入力され、入力タイムコードがタイムコードの内部設定値と一致しているとき、インジケーターが緑色に点灯します。
- TC** 入力タイムコードがタイムコードの内部設定値と一致していないときは、消灯します。

この部分を押すと、“SYNC T/C”画面を表示します。(→ 41ページ「シンク、タイムコード設定 (SYNC/TC)」)

⑤ オーディオ同期の状態表示 (ボタン/インジケーター)

- SYNC** マスタークロックに同期中、インジケーターが緑色に点灯します。
- SYNC** マスタークロックに同期していないときは、点滅します。クロックエラーが起きているときは、点滅します。

この部分を押すと、“SYNC T/C”画面を表示します。(→ 41ページ「シンク、タイムコード設定 (SYNC/TC)」)

⑥ 電源供給状態表示 (ボタン)

- 付属の専用ACアダプターで駆動しているときは、左図の表示をします。
- DC EXT** 外部DC電源で駆動しているときは、左図のようにバッテリー残量表示をします。
- 内蔵電池で駆動しているときは、左図のようにバッテリー残量表示をします。

外部DC電源、または内蔵電池で駆動時、残量がなくなると / が点滅します。

この部分を押すと、“BATTERY”画面を表示します。(→ 21ページ「バッテリー設定 (BATTERY)」)

“BATTERY”画面の“ICON TYPE”設定が“VOLTS”の場合は、電池アイコン内に電源電圧表示をします。

- DC EXT** 12.0 外部DC電源時
- 12.0 内蔵電池時

⑦ シーン/テイク名表示 (ボタン)

現在呼び出しているファイルのモード、およびシーン/テイク名を表示します。

- ：モノフォニックモード
- ：ステレオモード

この部分を押すと“PROJECT”画面(現在のプロジェクト/シーンのテイクリスト)を表示します。(→ 32ページ「プロジェクト画面について」)

⑧ SOLOインジケーター、トラック番号、レベルメーター、トラック名表示およびレコードファンクション (ボタン)

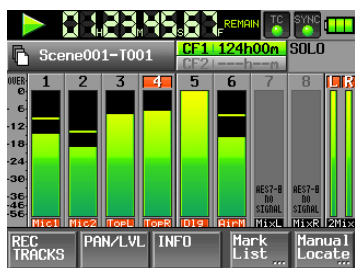
トラック番号は、録音可能な場合は黒、録音不可能な場合は灰色で表示されます (サンプリング周波数による)。また、トラック番号部はオーバーロードインジケーターとなっており、オーバーロード時は赤く、リミッターがオンのときは青くなります。再生時は、再生レベルを表示します。再生時以外のレコードファンクションがオンのトラックは、そのトラックの入力信号のレベルを表示します。

レベルメーターの下部は、トラック名表示部 (4文字以下) とレコードファンクションインジケーターになっています。

MIC/LINE選択スイッチがMIC 0またはMIC-25のときにインプットトリムつまみを回すと、メーター下のチャンネル名表示部にゲイン表示値がしばらくの間表示されます。

入力ソースにデジタル入力を選択されているとき、該当するデジタル入力に入力がない場合、あるいは入力信号が内部設定と異なっている場合は、チャンネルメーター表示部が灰色表示となり、以下の表示をします。 (“x-x” はチャンネルを表す)

- “AESx-x NO SIGNAL” : 入力信号がない場合
- “AESx-x UNLOCK” : 入力信号がシステムと同期していない場合
- “AESx-x NOT AUDIO” : 入力信号のCbit情報が非オーディオの場合
- “AESx-x NOT PRO” : 入力信号のCbit情報がプロフェッショナルでない場合
- “AESx-x Cbit ERROR” : 入力信号のその他Cbit情報と実際の動作モードが違う場合



[AESx-x NO SIGNAL表示時]

レベルメーター部分を押すと、そのチャンネルのソロとなりま。ソロになっているチャンネルのレベルメーター部とトラック番号のまわりが黄色のハイライト表示になります。ソロ以外のチャンネルのレベルメーターは、網掛け表示になります。

レベルメーター表示は、MENU画面内の “METER SETUP” 画面 (レベルメーター設定画面) で以下の設定が行えます。

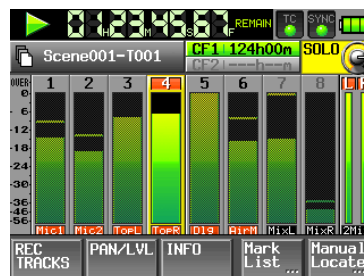
- ピークホールド時間
- リリース時間
- オーバーロードインジケーター点灯レベル
- リファレンスレベル線表示のオン/オフ設定

⑨ SOLOインジケーター表示 (ボタン)

どこかのチャンネルのソロがオンのときは、“SOLO” インジケーターが黄色く点灯し、“SOLO” レベルつまみが表示されます。

ソロ中にDATAダイヤルを回すと、ソロレベルを調節できます。

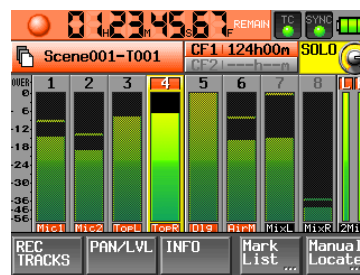
ソロになっているチャンネルのレベルメーター部とトラック番号のまわりは、黄色のハイライト表示になります。ソロ以外のチャンネルのレベルメーターは、網掛け表示になります。ソロチャンネルの選択は、レベルメーター部分を押しします。



[ホーム画面、再生時]



[ホーム画面、録音設定時]



[ホーム画面、録音時]



[PAN/LVLプルアップ表示、再生時]



[インフォメーション画面、再生時]

⑩ 記録メディア表示 (ボタン)

現在使用中のCFスロットと、録音可能残り時間表示を行います。使用中の記録メディア表示の背景は、再生中は緑、録音中は赤色表示になります。

スロットにメディアが装着されていない場合は、ハイフン表示となり薄い灰色になります。

該当CFカードにプロジェクト/シーンが無い場合には、“NoProject”と表示します。未フォーマットのCFカード装着時は“UNFORMAT”と表示します。

録音中にCFカードを装着した場合は、“UNMOUNT”と表示され、録音を停止すると通常の表示に更新されます。

この部分を押すと、“CF SELECT”画面 (メディア選択画面) を表示します。(→ 23ページ「CFカードのフォーマット」)

⑪ REC TRACKSボタン表示

このボタンを押すと、レコードファンクションボタンと次に録音する際のテイク番号 (“Next Take”) の変更ボタンをプルアップ表示します。



<Next Take>

アルファベット1文字と1から999までの数字を使って、テイク番号を設定します。

+/-ボタンを押すとアルファベット/数字を変更することができます。

アルファベット部/数字部を押すと、黄色く反転し、DATAダイヤルでアルファベット/数字を変更することができます。

ソロ中は、アルファベット部/数字部を選択できません。

以下の場合には“---”と表示され、数値の変更はできません。

- Project/Sceneがロードされていないとき
- 選択されたCFカードが無効のとき
- 現在のテイクが999のとき

メモ

録音待機状態になると、ホーム画面のシーン/テイク名表示 (ボタン) 上に、次に録音するテイクのファイル名を表示します。

⑫ PAN/LVL ボタン表示

このボタンを押すと、2mix録音、およびPHONES端子/LINE OUT端子用のミキシングを行うための、パンポットつまみ、レベルつまみ調節画面をプルアップ表示します。



各チャンネルの“PAN”つまみ、“2MixLVL”つまみを押すと、背景が白く反転し、DATAダイヤルで各パラメーターをコントロールすることができます。

チャンネルリンクしている場合の“PAN”つまみは、バランス調節つまみになります。

ソロ中は、“PAN”つまみ、“2MixLVL”つまみは選択できません。

⑬ INFOボタン表示

このボタンを押すと、現在の本機の設定とロードされているファイルの情報をプルアップ表示します。



“Sys. Info”には、現在の本機の設定内容を表示します。この部分を押すと“SYNC T/C”画面が表示されます。

“File Info”には、現在ロードされているファイルの情報を表示します。この部分を押すと“PROJECT”画面が表示されます。

⑭ Mark Listボタン表示

このボタンを押すと、マークポイントのリストを表示します。(→ 50ページ「マークリスト画面」)

⑮ Manual Locateボタン表示

このボタンを押すと、マニュアルでのロケート画面を表示します。(→ 52ページ「マニュアルロケート機能」)

第3章 準備

CFカードをセットする／取り出す

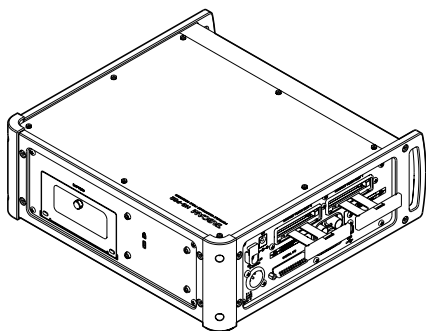
CFカードをセットする

本機で録音／再生を行うには、左サイドパネルの**COMPACT FLASH SLOT1**または**SLOT2**にCFカードをセットします。

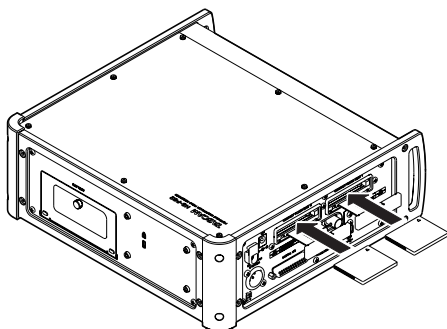
メモ

電源がオン／オフどちらのときもCFカードをセットすることができます。

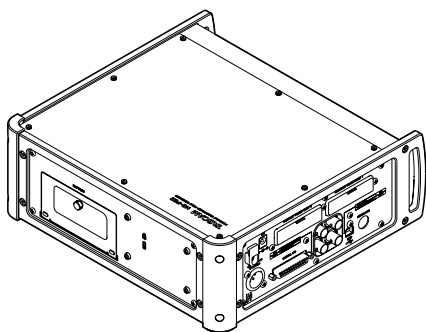
1. CFカードスロットのカバーをはずします。



2. CFカードを正しい向きに挿入します。ラベル面を上、端子部を奥にして挿入します。



3. カバーを閉じます。



メモ

スロットのカバーが閉まらない場合は、一度CFカードを抜き、CFカード挿入口の右にある四角ボタンを押し込んでから、再度CFカードを入れてください。

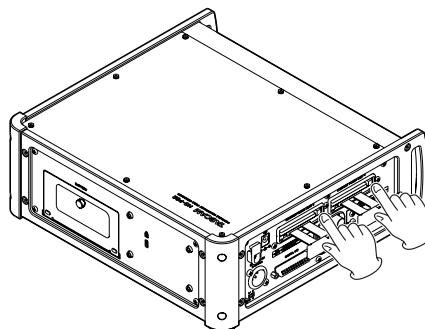
CFカードを取り出す

電源をオフにするか、動作を停止してから、CFカードを取り出します。

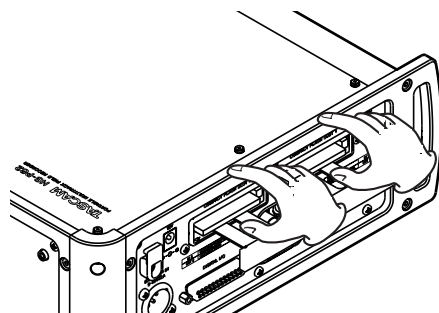
注意

録音中や再生中、USB経由でのデータ転送中など、CFカードにアクセス中には、絶対にCFカードを取り出さないでください。

1. CFカードスロットのカバーをはずします。
2. CFカードスロットの右にある四角ボタンを押すとボタンが出ます。



3. 出てきた四角ボタンを押し込むと、CFカードが一部排出されます。
4. 手でつまんでCFカードを引き出します。

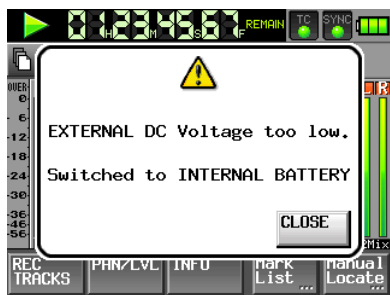


電源供給について

本機の電源供給は、付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-1225L)、外部DC電源、内蔵電池に対応しており、これらのうちのひとつから電源供給を行います。電源供給の優先順位は、ACアダプター → 外部DC電源 → 内蔵電池となっております。

使用している電源が、“BATTERY”画面 (バッテリー設定画面) で設定した“MINIMUM”値 (最低電圧値) を下回ると、あるいはACアダプター/外部DC電源の接続を外した場合は、次のように動作します。

- “SYSTEM SETUP”画面 (システム設定画面) の“ALARM TONE”タブ画面で“Battery Caution”項目が“ON”になっている場合は、ヘッドホン出力に警告音を出力します。
- 他に切り換える電源がある場合は、メッセージを表示したうえで、上記優先順位に従って電源を切り換えます。“CLOSE”ボタンまたはDATAダイヤルを押して、ポップアップメッセージを閉じます。

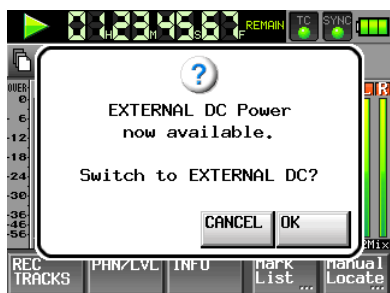


[外部DC電源から内蔵電池に切り換えた場合のメッセージ]

- 他に切り換える電源がない場合は、警告メッセージを表示後、20秒後に自動的に録音、再生を停止してシャットダウンします。

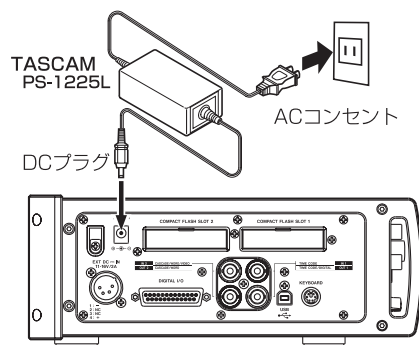


- 内蔵電池を使用中に、電圧が“NOMINAL”値以上の外部DC電源が接続された場合は、以下のポップアップメッセージが表示されます。

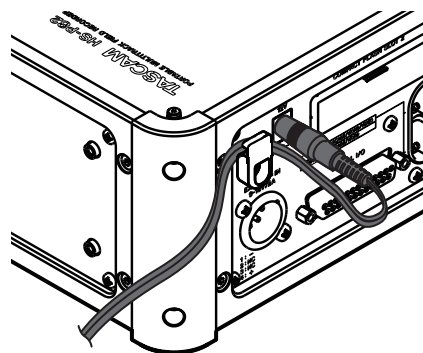


ACアダプターで使用する

図のように、付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-1225L) を左サイドパネルのDC IN端子に接続します。



サイドパネルには、ACアダプターのコードを固定するためのフック (コードホルダー) があります。使用中のコード抜けを防ぐため、接続するときはコードホルダーにコードを巻いてください。



注意

必ず付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-1225L) をご使用ください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。

内蔵電池で使用する

使用できる電池/バッテリー

本機では、以下の電池が使用可能です。

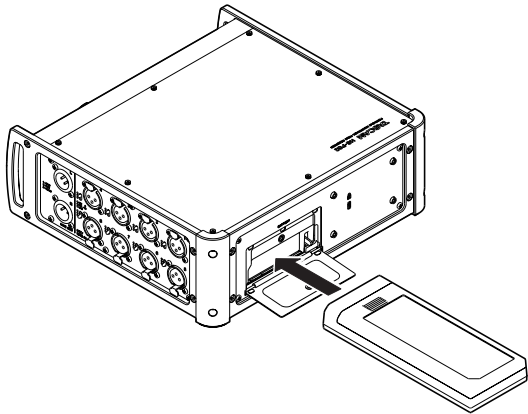
- 単3形アルカリ乾電池 x 10本
(バッテリーケース BC-10AAを使用)
- 単3形ニッケル水素電池 x 10本
(バッテリーケース BC-10AAを使用)
- ニッケル水素NPタイプバッテリー
- リチウムイオンNPタイプバッテリー

注意

本機には、充電機能は備えておりません。充電可能な電池/バッテリーをご使用になる場合は、あらかじめご使用になる電池/バッテリーに適合した充電器で充電してからお使いください。

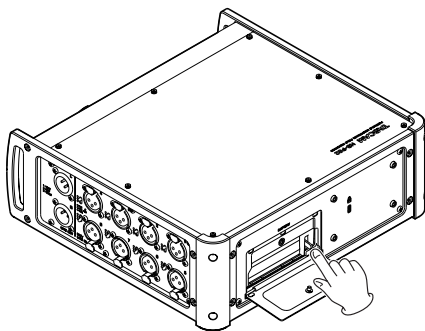
バッテリーの入れ方

リアパネルのバッテリースロットにあるネジを緩めてふたを開け、バッテリーケース（TASCAM BC-10AA）またはNPタイプバッテリーを挿入し、ふたを閉じてネジを締めます。

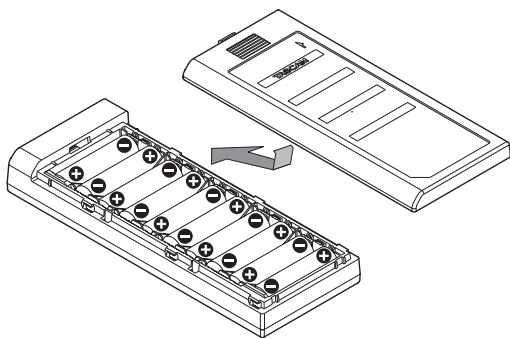


バッテリーの取り出し方

リアパネルのバッテリースロットにあるネジを緩めてふたを開け、バッテリースロットの右側にあるレバーを下に下げます。バッテリーのロックが解除されバッテリーが手前に出てきます。



電池の入れ方（バッテリーケース BC-10AA）



1. バッテリーケース（TASCAM BC-10AA）のふたを開けます。
2. ⊕、⊖ の向きに注意して、単3形電池を10本挿入します。
3. ふたを閉めます。

電池についての注意

- 電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。電池の注意表示、および本書4ページをよくお読みください。

- 電池を交換するときは、10本同時に新しい電池に交換してください。

外部DC電源で使用する

本機の左サイドパネルにあるEXT DC IN端子（XLR-4-32）に出力電圧が11-16V、出力電流が2A以上の外部DC電源を接続することにより、本機を動作させることができます。

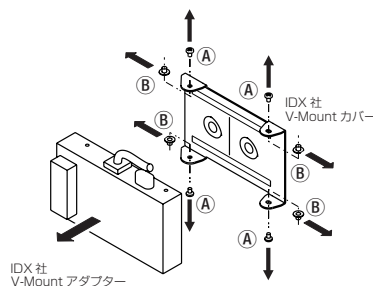
なお、V-Mountタイプのバッテリー取り扱いについては、バッテリーに付属の取扱説明書をよくお読みください。

本機に付属のV-Mountブラケットを使用することにより、IDX社のV-Mountバッテリーを取り付けることができます。

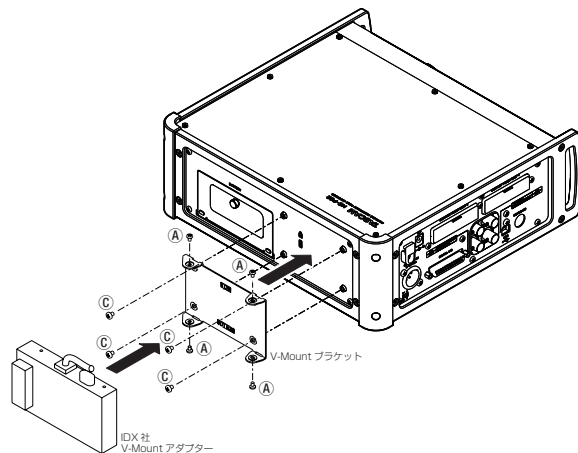
以下に外部DC電源の使用例として、IDX社のV-Mountタイプバッテリーの取り付け方法を記載します。

V-Montタイプバッテリーの取り付け方

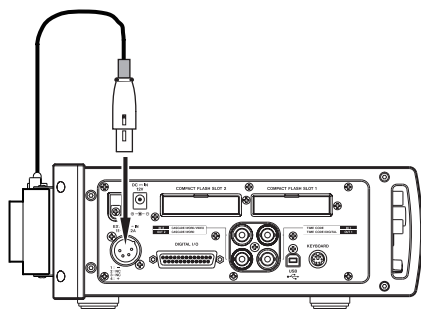
1. 下図のようにV-Mountアダプター（IDX社 C-EB（XLR））に取り付けてあるカバーを取り外します。
 ①のネジは、V-MountブラケットにV-Mountアダプターを取り付けるネジとなります。
 ②のスペーサーは、使用しませんのでカバーと一緒に保管してください。



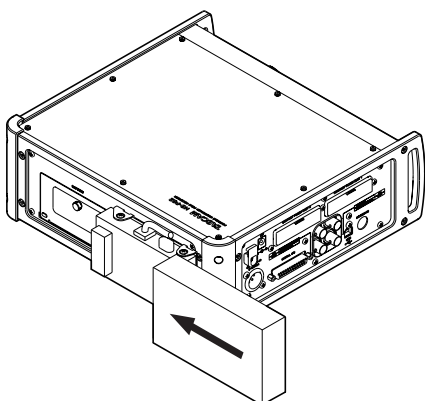
2. リアパネルにV-Mountブラケットを付属のV-Mountブラケットビスキット（③のネジ）で下図のように取り付けます。V-Mountブラケットには、取り付け方向があります。V-MountブラケットのTOPとBOTTOMの表示に注意して取り付けてください。
 V-Mountアダプター（IDX社 C-EB（XLR））をリアパネルに取り付けたV-Mountブラケットに1.で取り外した①のネジを使って取り付けます。



3. V-Mountアダプター (IDX社 C-EB (XLR)) からのケーブルを左サイドパネルのEXT DC IN端子に接続します。



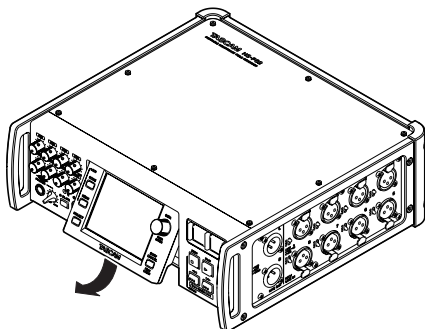
4. V-Mountアダプター (IDX社 C-EB (XLR)) にV-Mountバッテリーを挿入します。



ディスプレイについて

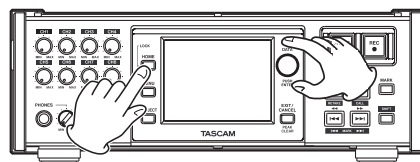
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの下部を手前に引くと、下図のようにディスプレイが手前に出てきて角度を調節することができます。
元に戻すには、ディスプレイの下の部分 (TASCAMロゴのあたり) を押してください。ディスプレイ面は、押さないでください。



ディスプレイとインジケータの輝度調節

HOMEキーを押しながらDATAダイヤルを回すとカラーディスプレイとPAUSEキー、RECキー、PLAY [CALL] キー、SLATEインジケータの輝度が調節できます。また、HOMEキーを押しながらDATAダイヤルを押し回しすると、カラーディスプレイのみの輝度が調節できます。





ディスプレイについての注意

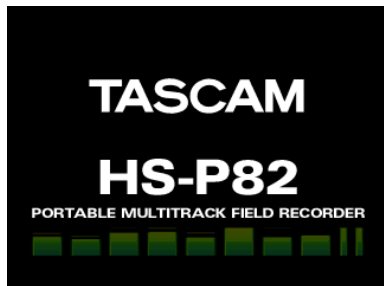
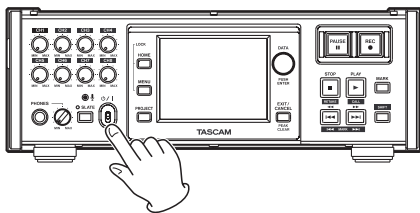
- ディスプレーは傷つきやすいので、先の固いもの (爪の先など) は使わず、かならず指で触れて操作してください。
- ディスプレーは指で強く押ししたり、ペンやつまようじなどの先の鋭い物で触れないでください。ディスプレイに傷が付く恐れがあります。また、故障の原因になります。
- ディスプレーのタッチパネル部は、フィルムとガラスで構成されています。表面に強い力を与えないでください。ガラスの破損の恐れがあります。
- ディスプレーの操作をするときにはパネル面に手を置いたり、ディスプレイの周囲を強く押さないでください。うまく位置検出ができない場合があります。
- ディスプレーの上に物を置くなど、長時間同じ位置に重量負荷をかけすぎないようにしてください。パネルのたわみ、位置検出に不具合が生じる場合があります。
- ディスプレーに市販の液晶画面保護フィルムは、使わないでください。正常に動作しないおそれがあります。
- ディスプレーは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布 (クリーニングクロスなど) で軽く拭きます。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると液晶の表面に傷が付く恐れがありますので注意してください。また、ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは、使用しないでください。

メモ

ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや黒や赤の点^hが現れたままになることがあります。これは故障ではありません。

電源のオン／オフ



フロントパネルの  /  スイッチを下に押し電源をオンにします。



[起動画面]



[ホーム画面]

電源をオフにする場合は、フロントパネルの  /  スイッチを再度下に押します。電源をオフにするかどうかの確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、画面の指示に従って操作し、電源をオフにします。

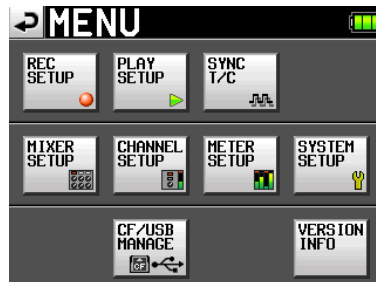
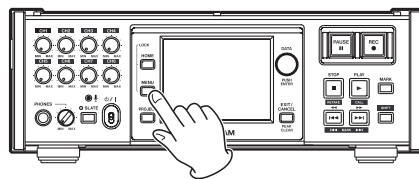


注意

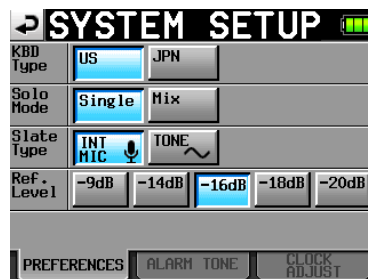
外部DC電源または内蔵電池を使用する場合は、起動時に11V以上の電圧が必要です。

内蔵時計の時刻を設定する

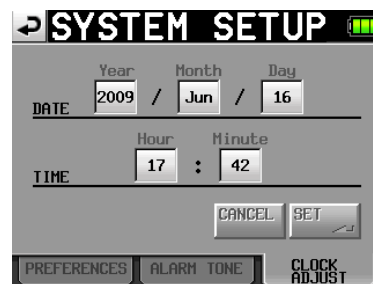
1. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。



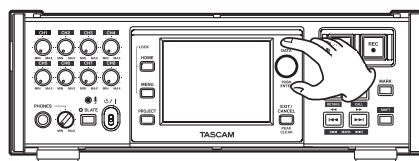
2. “SYSTEM SETUP” ボタンを押して、“SYSTEM SETUP”画面（システム設定画面）を表示します。



3. “CLOCK ADJUST” タブを押して、内蔵時計の“CLOCK ADJUST”タブ画面（時刻設定画面）を表示します。



4. 変更したい項目を押して、フロントパネルのDATAダイヤルで値を変更します。



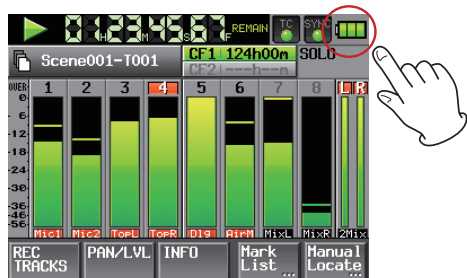
5. “SET” ボタンまたはDATAダイヤルを押して確定します。

メモ

購入後、最初の録音をする前にこの設定を行ってください。この設定を行わないと、録音ファイルのタイムスタンプが正しい状態になりません。

バッテリー設定 (BATTERY)

すべての画面の右上に電源供給状態表示ボタンがあります。



[ホーム画面の例]

このボタンを押すと、以下の“BATTERY”画面（バッテリー設定画面）を表示します。



[内蔵電池を使用しているときの例]

STATUS

現在使用中の電源を表示します。

AC/DC EXT/BATT

現在使用中の電源のインジケーターが緑に点灯します。
“HEALTH”の下には、各電源の現在の電圧を表示します。
“BATT”の下には、内蔵電池の種類を表示します。

NONE：内蔵電池未装着

NP：NPタイプバッテリー装着時

PACK：バッテリーケース (BC-10AA) 装着時

“DC EXT”と“BATT”では、以下の設定を行います。

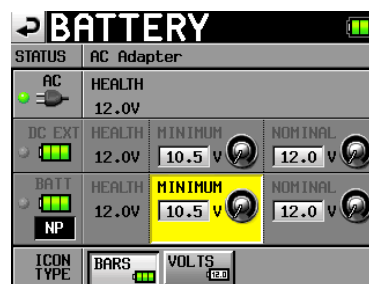
● MINIMUM：

使用する電源を切り換えるときの最低電圧を設定します。
設定値は“9.0V”～“13.0V”です。(初期値：10.5V、0.5V/step)

● NOMINAL：

使用する電源の公称電圧を設定します。設定値は“12.0V”
(初期値)、“13.2V”、“14.4V”、“14.8V”、“15.0V”です。

変更したい値の部分を押して、DATAダイアルを使って値を設定します。



使用する電源に対する推奨設定値は、以下の通りです。

NPタイプバッテリー、外部DC電源

電池の種類	最低電圧	公称電圧
NiMH 12.0V タイプ	11.0V～	12.0V
NiMH 13.2V タイプ	12.0V～	13.2V
Li-Ion 14.4V タイプ	13.0V～	14.4V
Li-Ion 14.8V タイプ	13.0V～	14.8V
ディープサイクル鉛蓄電池	10.5V～	12.0V

電池 (バッテリーケース BC-10AAを使用)

電池の種類	最低電圧	公称電圧
NiMH 充電電池 (HR6)	10.5V～	12.0V
アルカリ乾電池 (LR6)	9.0V～9.5V	15.0V

この表は、一般的なバッテリーの電圧を記載しています。
実際に使用するバッテリー／電源の取扱説明書に記載されている
推奨値に設定するようにしてください。

注意

特に最低電圧が低すぎると、過放電により充電電池を傷める危険性がありますのでご注意ください。

メモ

コンデンサマイクヘファントム電源を供給した場合は、電力を多く消費します。単3形電池 (NiMH充電地／アルカリ乾電池) は容量が小さいため、コンデンサマイクを使用すると稼働時間が極端に短くなります。

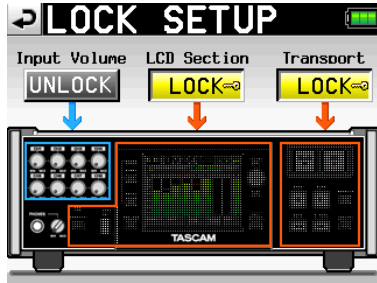
長時間稼働させたい場合は、付属の専用ACアダプター (TASCAM PS-1225L) が容量の大きいバッテリーをご使用ください。

ICON TYPE (電源状態表示)：

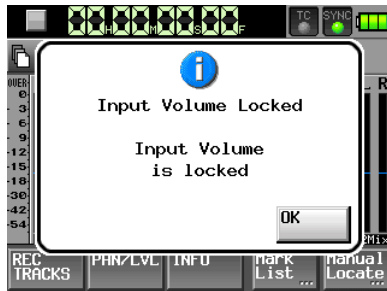
電源供給状態ボタンの電池アイコン表示を“BARS” () / (初期値)、あるいは“VOLTS” (/) に切り換えます。

パネルロック機能

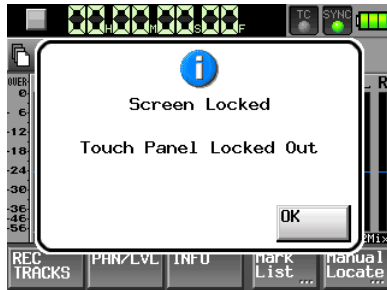
フロントパネルのHOMEキーを押しながら、MENUキーを押すことにより、フロントパネルのからの操作を受け付けなくするパネルロック機能のオン/オフを設定することができます。



フロントパネルを3つのセクションに分け、それぞれにおいて、ロックするかどうかの設定ができます。ロック中に操作をすると、以下のようなメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。



[インプットトリムつまみ ロック状態]



[ディスプレイ部 ロック状態]

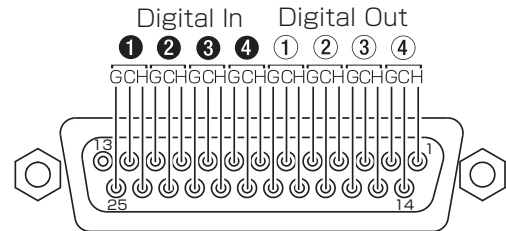


[トランスポート部 ロック状態]

DIGITAL I/O端子について

左サイドパネルにあるDIGITAL I/O端子は、D-sub 25ピン AES3-2003/IEC60958-4 (AES/EBU) のデジタルオーディオ入出力端子です。

ピンアサインは、以下の通りです。



録音時間について

各録音フォーマットにおけるCFカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

書き込みファイルフォーマットと録音トラック数	CFカード容量		
	8GB	16GB	32GB
16ビット、44.1kHz、8トラック	3時間09分	6時間18分	12時間36分
16ビット、44.1kHz、8トラック+ステレオ	2時間31分	5時間02分	10時間05分
16ビット、48kHz、8トラック	2時間54分	5時間47分	11時間34分
16ビット、48kHz、8トラック+ステレオ	2時間19分	4時間38分	9時間16分
24ビット、44.1kHz、8トラック	2時間06分	4時間12分	8時間24分
24ビット、44.1kHz、8トラック+ステレオ	1時間41分	3時間22分	6時間43分
24ビット、48kHz、8トラック	1時間56分	3時間51分	7時間43分
24ビット、48kHz、8トラック+ステレオ	1時間33分	3時間05分	6時間10分
24ビット、88.2kHz、8トラック	1時間03分	2時間06分	4時間12分
24ビット、96kHz、8トラック	58分	1時間55分	3時間51分
24ビット、176.4kHz、4トラック	1時間03分	2時間06分	4時間12分
24ビット、192kHz、4トラック	58分	1時間56分	3時間51分

- 上記録音時間は目安です。ご使用のCFカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、CFカードに可能な録音合計時間です。

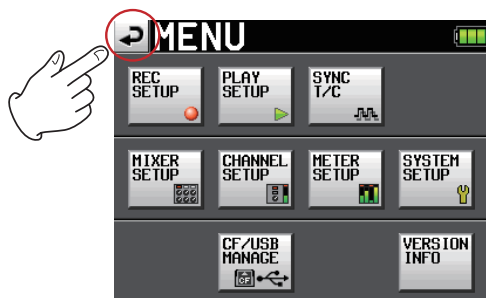
この章では、マイクを使って録音を行う場合の基本的な操作方法を説明します。

本機のディスプレイは、タッチパネルとなっております。本体のキー、スイッチおよびタッチパネルディスプレイ上のボタンを操作してください。

メモ

本機での最大録音トラック数は、サンプリング周波数が44.1kHzまたは48kHzの場合の8トラック+ステレオトラックとなります。入力は、最大8チャンネルとなります。ステレオトラックには、録音する8トラックの音を、ステレオミックスしたものを録音します。

ホーム画面以外では、画面左上に“MENU”ボタンがあります。このボタンを押すことにより、一つ前の画面に戻ることができます。



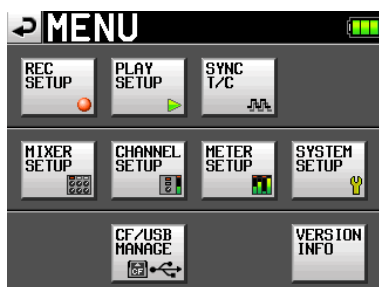
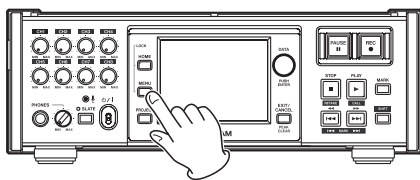
録音の準備をする

CFカードのフォーマット

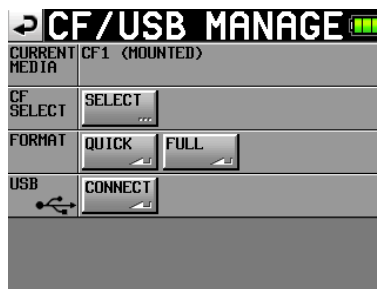
注意

- フォーマットを行うと、カード上のデータはすべて失われます。
- 必ず本機にてフォーマットを行ってください。他の機器、PC等でフォーマットしたCFカードを使用した場合は、動作に影響が出る場合があります。
- 本機でフォーマットした2GB以下のCFカードは、パソコンで確認すると、空き容量がゼロと認識され、ファイルやフォルダの書き込みができない場合があります。

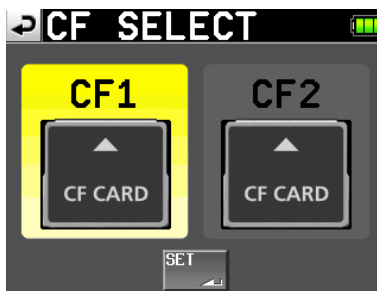
1. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。



2. “CF/USB MANAGE” ボタンを押して、“CF/USB MANAGE”画面（CFカード／USB管理画面）を表示します。



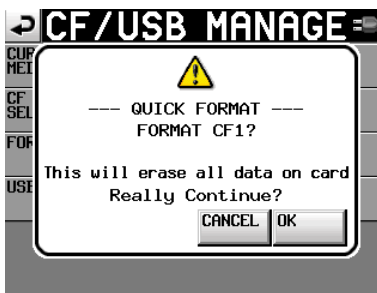
3. “CF SELECT” 項目の“SELECT” ボタンを押して、“CF SELECT”画面（CFカード選択画面）を表示します。



4. フォーマットするCFカードのボタンを押して、選択します。選択されたCFカードのボタンの背景が黄色になります。

5. “SET” ボタンを押して、“CF/USB MANAGE”画面（CFカード／USB管理画面）に戻します。

6. “FORMAT” 項目の“QUICK” ボタンを押すと、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。



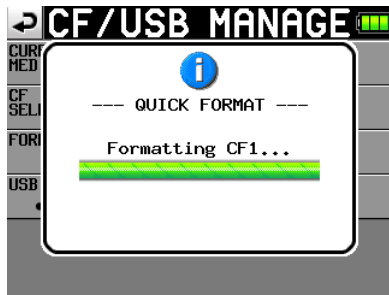
メモ

CFカードが装着されていない場合は、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

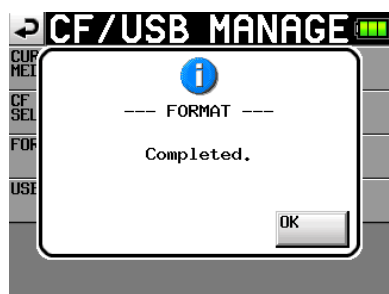


7. ポップアップウィンドウ内の“OK”ボタンを押します。

フォーマット中は、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

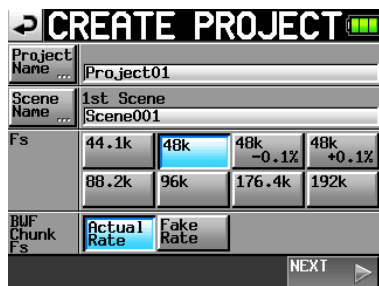


フォーマットが完了すると、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。



8. ポップアップウィンドウ内の“CLOSE”ボタンを押します。

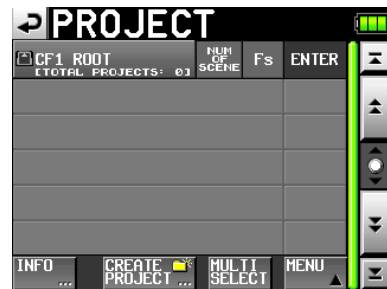
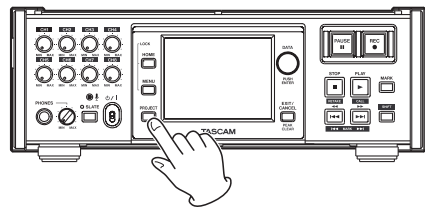
自動的に“CREATE PROJECT”画面（プロジェクト作成画面）が表示されます。



9. 次節の「新規プロジェクトの作成」の2.以降の手順に従ってプロジェクトを作成してください。

新規プロジェクトの作成

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。



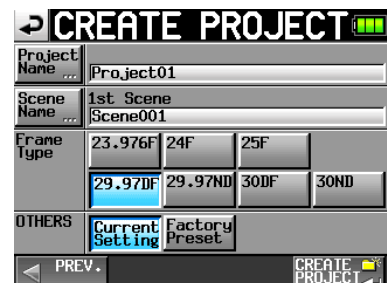
2. “CREATE PROJECT”ボタンを押して、“CREATE PROJECT”画面（プロジェクト作成画面）を表示します。“CREATE PROJECT”画面は、2つの画面があります。



この画面では、プロジェクト名、最初にするシーン名、サンプリング周波数、BWFチャンクに書き込むサンプリング周波数の設定を行います。

各設定項目の詳細は、33ページ「新規プロジェクトを作成する」をご参照ください。

“NEXT”ボタンを押して、次の画面を表示します。



次にフレームタイプ、プロジェクト設定を行います。各設定項目の詳細は、33ページ「新規プロジェクトを作成する」をご参照ください。

3. 設定が終了したら、“CREATE PROJECT” ボタンを押します。

メモ

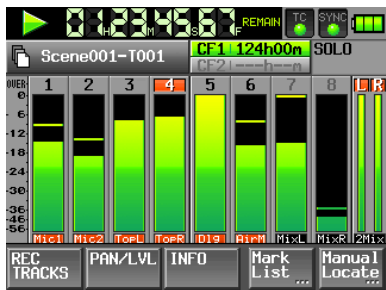
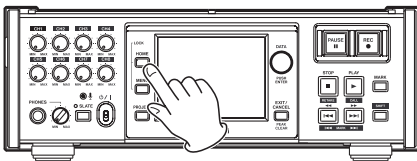
同じプロジェクト名のプロジェクトが存在する場合は、“CREATE PROJECT” ボタンが灰色表示になり、新規プロジェクトを作成することができません。この場合は、プロジェクト名を変更してください。

4. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、設定内容を確認し、“OK” ボタンを押します。ホーム画面に戻ります。



マスタークロックの設定

1. フロントパネルのHOMEキーを押して、ホーム画面を表示します。



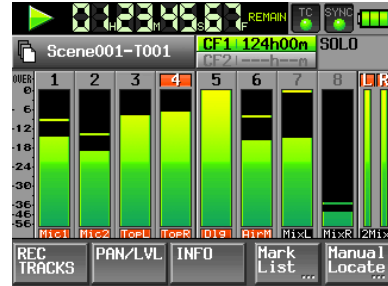
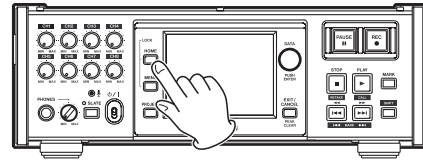
2. “SYNC” ボタンを押して、“SYNC T/C” 画面（クロック設定画面）を表示します。



3. “MASTER” 項目の中から使用するマスタークロックを選択します。

録音トラックの設定

1. フロントパネルのHOMEキーを押して、ホーム画面を表示します。



2. “REC TRACKS” ボタンを押して、“REC SETUP”画面の“REC TRACKS” プルアップ表示（録音トラック設定表示）を表示します。



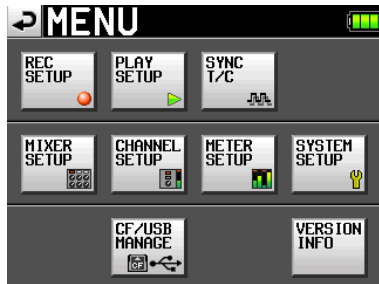
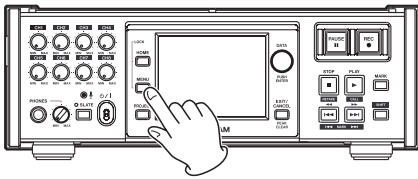
“REC TRACKS” プルアップ表示（録音トラック設定表示）では、レベルメーターの下のレコードファンクションボタンを押して、録音したいトラックをオンにします。レコードファンクションがオンのときは、ボタンの背景が赤くなります。

メモ

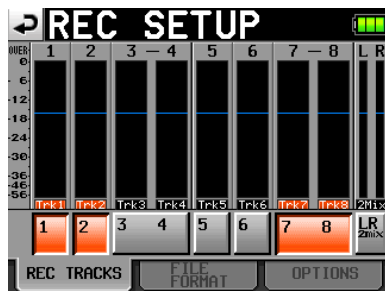
- 内部ミキサーでステレオミックスした音を同時に録音する場合は、“LR 2mix” のレコードファンクションをオンにします。（サンプリング周波数が44.1kHzまたは48kHzの場合のみ）
- MENUキーを押して、“MENU” 画面を表示し、“REC SETUP” ボタンを押して “REC TRACKS” タブ画面を表示することでも、レコードファンクションを設定することができます。

ファイルフォーマットの設定

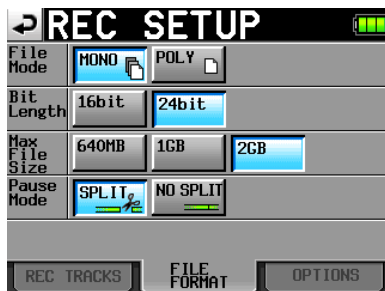
1. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。



2. “REC SETUP” ボタンを押して、“REC SETUP”画面（録音設定画面）を表示します。



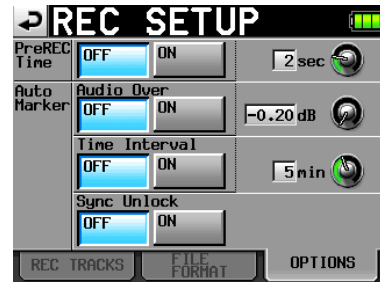
“FILE FORMAT” タブを押すと、以下の画面を表示します。



“FILE FORMAT” タブ画面では、ファイルモード、ビット長、最大ファイルサイズ、録音を一時停止したときの処理方法を設定します。選択した項目の背景が薄青色になります。詳しくは、40ページ「FILE FORMATタブ画面」をご参照ください。

その他の録音設定

“OPTIONS” タブを押すと、以下の画面を表示します。

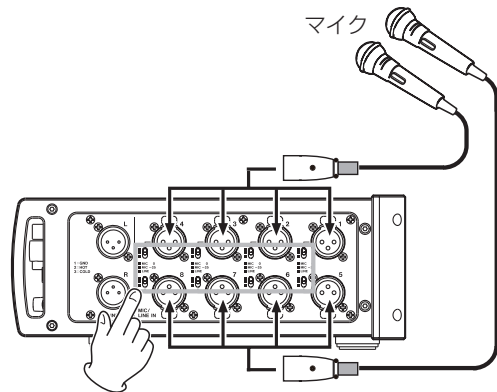


“OPTIONS” タブ画面では、プリレックタイム、オートマーカーの設定を行います。詳しくは、41ページ「OPTIONSタブ画面」をご参照ください。

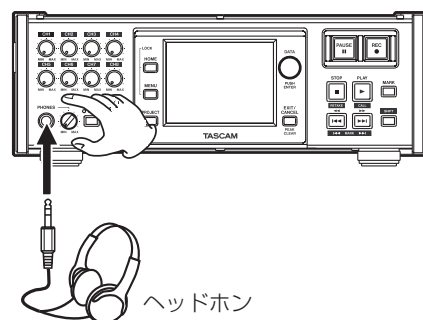
マイクとヘッドホンの接続

マイクをMIC/LINE端子に接続します。

右サイドパネルの入力端子のそばにあるMIC/LINEスイッチは、すべてMIC Oにセットします。

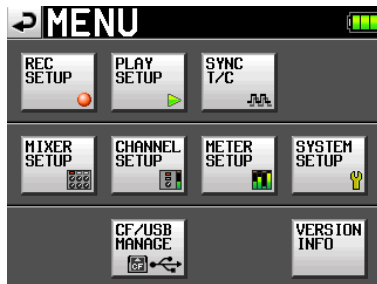
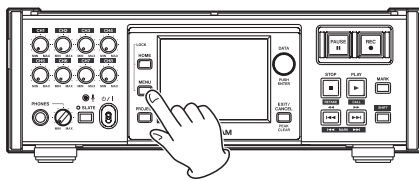


ヘッドホンをフロントパネルのPHONES端子に接続します。このとき、ヘッドホンつまみは、まだMIN（左いっぱい）にしておいてください。

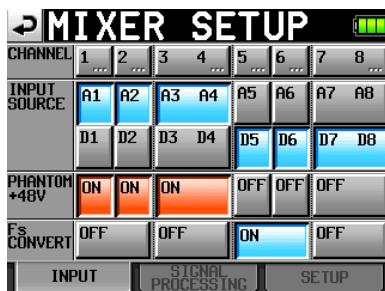


コンデンサマイクをご使用の場合は、以下の手順でファントム電源をオンにします。

1. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。



2. “MIXER SETUP” ボタンを押して、“MIXER SETUP”画面（ミキサー設定画面）を表示します。



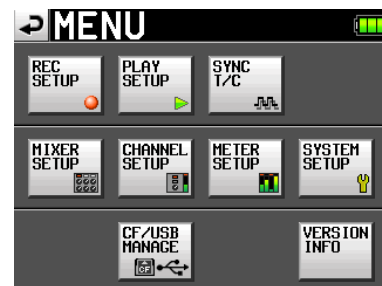
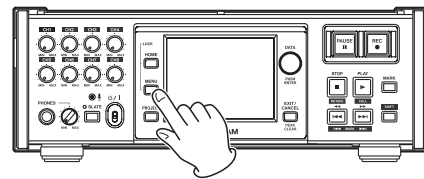
3. “INPUT” タブ画面の “PHANTOM +48V” 項目のボタンを押して、該当するチャンネルのファントム電源の設定を “ON” にします。

注意

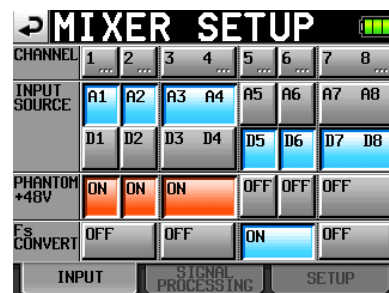
- MIC/LINE IN端子にライン機器を接続する場合は、ファントム電源が “OFF” になっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でライン機器を接続すると、ライン機器および本機の故障の原因になります。
- MIC/LINE IN端子にコンデンサーマイクを接続したり、接続しているコンデンサーマイクを外すときは、ファントム電源が “OFF” になっていることを確認してください。ファントム電源が供給されている状態でマイクを接続したり、外したりすると、マイクおよび本機の故障の原因になります。
- ファントム電源が供給されているXLRコネクタにアンバランスのダイナミックマイクを接続しないでください。マイクおよび本機の故障の原因になります。

入力の設定

1. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。

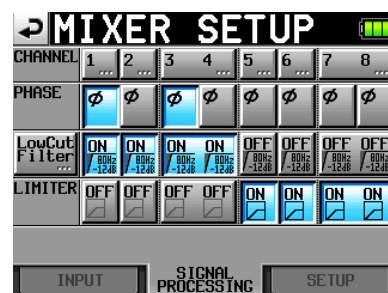


2. “MIXER SETUP” ボタンを押して、“MIXER SETUP”画面（ミキサー設定画面）を表示します。

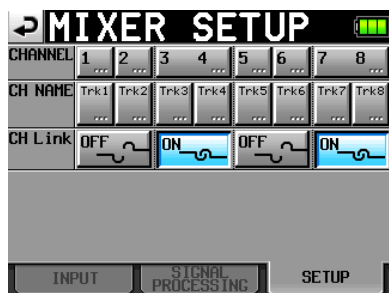


“INPUT” タブ画面では、各チャンネルの入力ソース、各入力ファントム電源のオン/オフ設定、サンプリングレートコンバーターのオン/オフ設定を行います。詳しくは、44ページ「INPUTタブ画面」をご参照ください。

3. 必要に応じて、“SIGNAL PROCESSING” タブ、“SETUP” タブを押して、各設定を行います。



“SIGNAL PROCESSING” タブ画面では、フェーズ、ローカットフィルターのオン/オフ設定、リミッターのオン/オフ設定を行います。ローカットフィルターの詳細設定は、“LowCutFilter” ボタンを押し、“LOW CUT FILTER”画面で行います。詳しくは、44ページ「SIGNAL PROCESSINGタブ画面」をご参照ください。

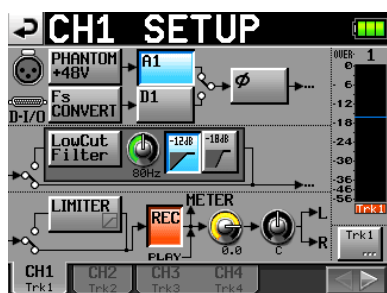


“SETUP” タブ画面では、チャンネル名の編集、チャンネルリンクのオン/オフ設定を行います。

チャンネル名の編集を行うには、“CH NAME” 項目にある各ボタンを押します。詳しくは、45ページ「CHx NAMEボタン」をご参照ください。

入力の設定は、“CHx SETUP” 画面（チャンネル設定画面、“x” はチャンネルを表す）でもできます。この画面は、以下の2通りの方法で呼び出せます。

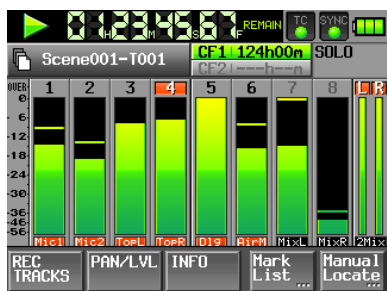
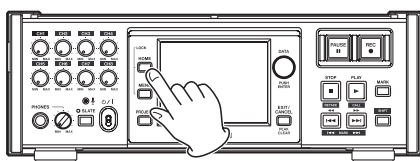
- “MENU” 画面で、“CHANNEL SETUP” ボタンを押します。
- “MIXER SETUP” 画面（ミキサー設定画面）の一番上の“CHANNEL” ボタンを押します。



“CHANNEL SETUP” 画面（チャンネル設定画面）での設定方法については、45ページ「チャンネル設定（CHANNEL SETUP）」をご参照ください。

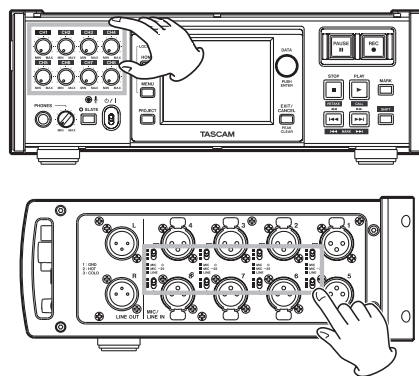
入力レベルの調節

1. フロントパネルのHOMEキーを押して、ホーム画面を表示します。



2. 接続したマイクを使って音を入力し、ディスプレイのレベルメーターがオーバーロードしない程度にインプットリムつまみを使って入力レベルを調節します。このとき、マイクの入力が大きすぎる場合は、MIC/LINE端子のそばにあるMIC/LINE選択スイッチをMIC-25にセットし、インプットリムつまみで再度入力レベルを調節します。

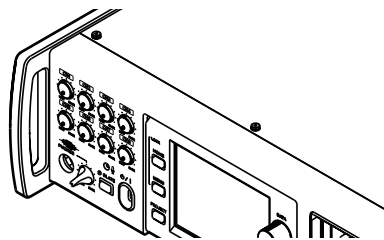
MIC/LINE選択スイッチがMIC 0またはMIC-25のときにインプットリムつまみを回すと、メーター下のチャンネル名表示部にゲイン表示値がしばらくの間表示されます。



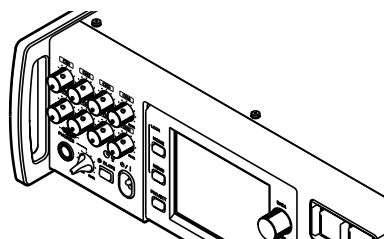
メモ

インプットリムつまみを押し込むことにより、誤操作を防ぐことができます。

つまみが突き出している状態で、つまみ操作が可能になります。



[インプットリムつまみを押し込んだ状態]



[インプットリムつまみが出ている状態]

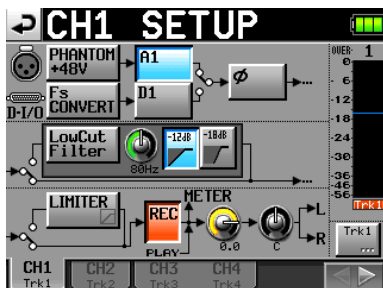
入力のモニター

ホーム画面の“PAN/LVL” ボタンを押して表示される“PAN/LVL” プルアップ表示、もしくは“CHx SETUP” 画面（チャンネル設定画面、“x” はチャンネルを表す）において、レベルつまみとパンポットつまみを使って調節します。調節した各チャンネルのミックス信号を、ヘッドホンや外部スピーカーでモニターすることができます。

ソロ中は、“PAN” つまみ、“2MixLVL” つまみは選択できません。



[ホーム画面 PAN/LVLプルアップ表示]



[CHx SETUP画面]

メモ

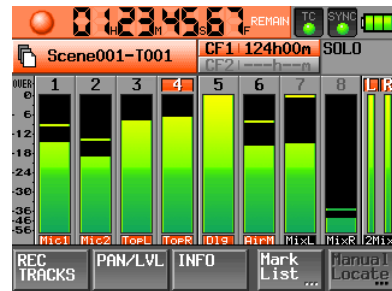
サンプリング周波数が44.1kHzまたは48kHzの場合は、レベルつまみとパンポットつまみを使って調節された信号も一緒に録音することができます。

録音する

録音

RECキーを押すと録音を開始します。

ホーム画面において、画面左上のトランスポートステータス表示が録音表示に変わり、一部の背景が赤くなり、録音中であることを表示します。タイムカウンターも同時にスタートします。



録音中にRECキーを押すと、録音は継続したままですが、現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルへの録音を開始します。

注意

- 録音開始から4秒未満でRECキーを押した場合には、次のテイクの録音を開始しません。
- テイク番号999のファイルが存在する場合は、次のテイクの録音できません。

録音の停止

録音を終了するには、STOP [RETAKE] キーを押します。

リテイク

SHIFTキーを押しながらSTOP [RETAKE] キーを押すと、最終テイクの削除を行います。

2Mixテイクも同時に録音を行った場合は、2Mix テイクも同時に削除されます。録音中にRECキーを押して複数テイクを続けて録音した場合は、録音を開始したテイクまで1テイクづつさかのぼってリテイクすることが可能です。

ボイスメモ／スレートトーン機能

フロントパネルのSLATEキーを押している間、フロントパネルにあるスレートマイクからの信号、またはスレートトーン（内蔵オシレーター）信号を録音対象トラックに入力します。どちらを録音するかは、“SYSTEM SETUP” 画面の“PREFERENCES” タブ画面で設定を行います。（→ 47ページ 「PREFERENCESタブ画面」）

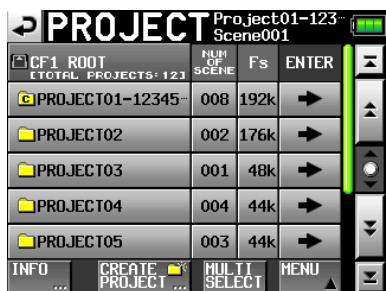
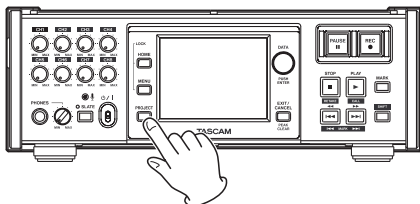
メモ

SLATEキーは、誤操作防止のためしばらく押し続けるとオンになりません。

再生する

プロジェクト／シーン／テイクの選択

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。



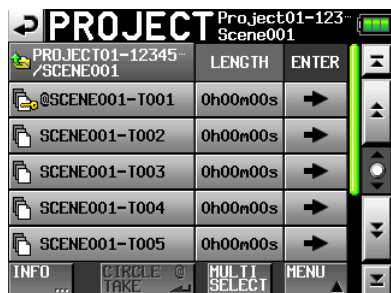
メモ

ホーム画面のシーン／テイク名の部分を押しすることで、プロジェクト画面を呼び出すこともできます。

2. 再生したいプロジェクトの“→”ボタンを押します。シーン選択画面を表示します。



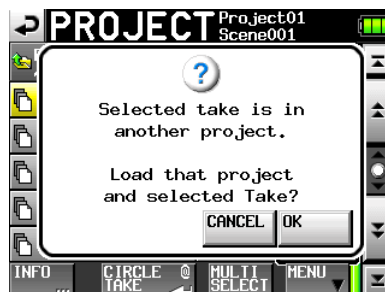
3. 再生したいシーンの“→”ボタンを押します。テイク選択画面を表示します。



4. 再生したいテイクの“→”ボタンを押します。
現在選択されているプロジェクト内のテイクの場合は、ポップアップウィンドウに“Load selected take?”が表示されます。現在選択されているプロジェクト外のテイクの場合は、ポップアップウィンドウに“Selected take is in another project.”が表示されます。



[プロジェクト内のテイクの場合のメッセージ]



[プロジェクト外のテイクの場合のメッセージ]

5. 確認メッセージがポップアップウィンドウ内に表示されますので、“OK”ボタンを押します。
ロードが完了すると、ホーム画面に戻ります。

再生

- PLAY [CALL] キーを押します。
PAUSEキーを押すと一時停止します。
一時停止を解除するには、PLAY [CALL] キーを押します。
STOP [RETAKE] キーを押すと停止します。
◀◀[I◀◀] / ▶▶[▶▶I] キーを短く押すと、テイクを切り換えます。
長く押すと早戻し／早送り再生をします。

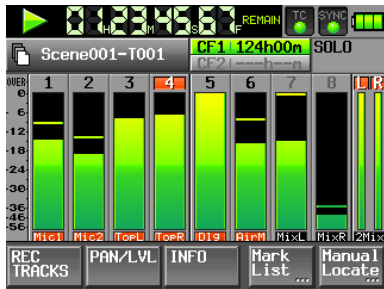
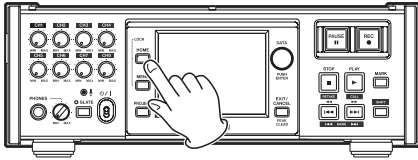
メモ

“PLAY SETUP”画面（再生設定画面）で、選択しているテイクのみを再生するか、現在のシーン内にあるテイクすべてを再生するかの設定ができます。（→ 41ページ「再生設定 (PLAY SETUP)」）

再生音のミキシング

内部ミキサー機能を使って、録音した素材をステレオにミックスし、ライン出力端子およびPHONES端子から出力することができます。

1. フロントパネルのHOMEキーを押して、ホーム画面を表示します。



2. ホーム画面の“PAN/LVL” ボタンを押して、“PAN/LVL” プルアップ表示を表示します。



PANつまみ：ステレオバスに送る左右の定位を調節します。

このつまみを押し、DATAダイヤルで調節します。

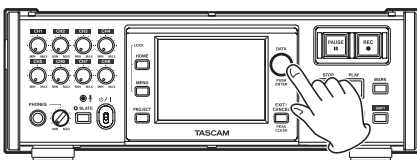
2Mix LVLつまみ：ステレオバスに送るレベルを調節します。

このつまみを押し、DATAダイヤルで調節します。

メモ

ソロ中は、“PAN”つまみ、“2MixLVL”つまみは選択できません。

3. 操作したいつまみを押します。フロントパネルのDATAダイヤルを使って調節します。



ヒント

DATAダイヤルを押しながら回すと、1ステップの幅が大きくなります。大まかに調節するのに便利です。

コール

SHIFTキーを押しながらPLAY [CALL] キーを押すと、最後に再生待機状態から再生を開始したポイントにロケートし、再生待機状態となります。

第5章 プロジェクト

プロジェクトについて

本機は、プロジェクト形式でオーディオファイルを管理します。CFカードの中には、プロジェクトフォルダ群、プロジェクトフォルダの中には、シーンと呼ばれるフォルダ群、シーンの中にテイクと呼ばれるオーディオファイル群があります。

- プロジェクト**：1つの番組、作品の全素材のかたまりです。
- シーン**：プロジェクト内のある場面の素材のかたまりです。
- テイク**：各シーンで録音した素材です。

ファイルフォーマットについて

本機で記録再生できるファイルフォーマットは、以下の通りです。

- **ファイルフォーマット**：BWF
- **サンプリング周波数**：44.1k/48k/48k pull-down/
48k pull-up/88.2k/96k/176.4k/192kHz
- **量子化ビット数**：16/24ビット
- **トラック数**：1～8トラック (44.1k/48k/88.2k/96kHz時)
1～8トラック+ステレオ (44.1k/48kHz時)
1～4トラック (176.4k/192kHz時)
- **ファイルモード**：モノフォニック、ポリフォニック

モノフォニックモードとポリフォニックモード

モノフォニックモードでは、各トラックがそれぞれ独立したモノラルのBWFファイルとして録音されます。

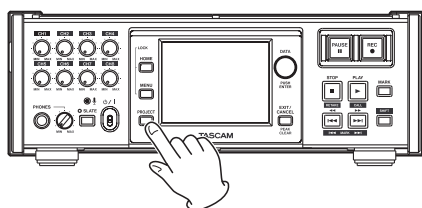
ポリフォニックモードでは、複数のトラックが一つのまとまったBWFファイルとして録音されます。

ポリフォニックファイルに対応したオーディオアプリケーションなどにファイルを転送する際、複数のトラックをまとめてインポートすることができます。

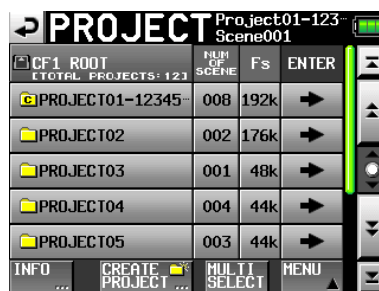
2mixファイルは、常にポリフォニックファイル(ステレオファイル)で録音されます。

プロジェクト画面について

フロントパネルのPROJECTキーを押すと、「PROJECT」画面(プロジェクト画面)を表示します。このとき、最後に表示した「PROJECT」画面(プロジェクト選択、シーン選択、テイク選択画面のどれか)を表示します。



プロジェクト選択画面



ディレクトリ表示：現在のディレクトリ階層およびプロジェクト数を表示します。(上図の例は、CF1のルートディレクトリ、プロジェクト数は12個)

NUM OF SCENE：プロジェクトに含まれるシーン数を表示します。

Fs：プロジェクトのサンプリング周波数を表示します。以下のサンプリング周波数については、省略表示されます。

44.1k	：“44k”
48k-0.1% (pull-down)	：“48k-”
48k+0.1% (pull-up)	：“48k+”
88.2k	：“88k”
176.4k	：“176k”

ENTER：該当するプロジェクトの“→”ボタンを押すと、そのプロジェクトの中身を表示します。

プロジェクト名ボタン：該当するプロジェクトを選択します。

INFOボタン：プロジェクトを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたプロジェクトの情報をポップアップ表示します。プロジェクトを選択していない状態でこのボタンを押すと、CFカード全体の情報を表示します。

CREATE PROJECTボタン：新規プロジェクトを作成する画面を表示します。

MULTI SELECTボタン：プロジェクトを複数選択できるモードにします。

MENUボタン：“LOAD”、“REBUILD”、“EDIT NAME”、“DELETE”を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

スクロールボタン：リストの先頭、末尾、1ページ(5行)ずつのスクロールを行います。また、DATAダイヤルでも、1行ずつリストをスクロールすることができます。

バッテリーアイコン左のプロジェクト名/シーン名が表示されている部分を押すと、現在のプロジェクト/シーンのテイクリスト画面が表示されます。

シーン選択画面



プロジェクト名表示：現在のプロジェクト名を表示します。

NUM OF TAKE：シーンに含まれるテイク数を表示します。

TOTAL TIME：シーンに含まれるテイクの合計時間を表示します。

ENTER：該当するシーンの“→”ボタンを押すと、そのシーンの中身を表示します。

シーン名ボタン：該当するシーンを選択します。

INFOボタン：シーンを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたシーンの情報をポップアップ表示します。
シーンを選択していない状態でこのボタンを押すと、現在のプロジェクトについての情報を表示します。

MAKE SCENEボタン：新規シーンを作成する画面を表示します。

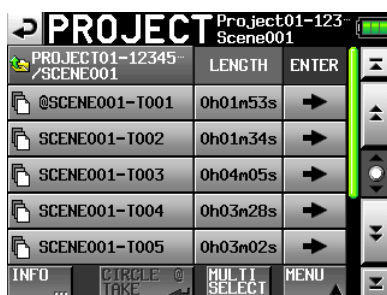
MULTI SELECTボタン：シーンを複数選択できるモードにします。

MENUボタン：“LOAD”、“REBUILD”、“COPY”、“DELETE”を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

スクロールボタン：リストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、**DATA**ダイヤルでも、1行ずつリストをスクロールすることができます。

バッテリーアイコン左のプロジェクト名/シーン名が表示されている部分を押すと、現在のプロジェクト/シーンのテイクリスト画面が表示されます。

テイク選択画面



シーン名表示：現在のシーン名を表示します。

LENGTH：テイクの長さ（時間）を表示します。

ENTER：該当するテイクの“→”ボタンを押すと、そのテイクをロードします。

テイク名ボタン：該当するテイクを選択します。

INFOボタン：テイクを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたテイクの情報をポップアップ表示します。
テイクを選択していない状態でこのボタンを押すと、現在のシーンについての情報を表示します。

CIRCLE TAKEボタン：選択したテイク名の先頭に“@”マークを追加/削除します。

MULTI SELECTボタン：テイクを複数選択できるモードにします。

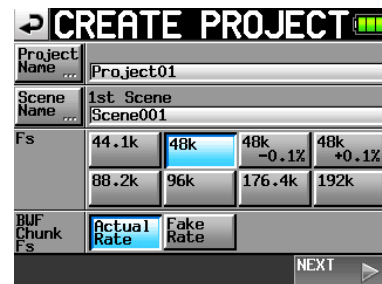
MENUボタン：“LOAD”、“REBUILD”、“DELETE”を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

スクロールボタン：リストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、**DATA**ダイヤルでも、1行ずつリストをスクロールすることができます。

プロジェクトの操作

新規プロジェクトを作成する

1. フロントパネルの**PROJECT**キーを押して、“**PROJECT**”画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. “**PROJECT**”画面の“**CREATE PROJECT**”ボタンを押して、“**CREATE PROJECT**”画面（プロジェクト作成画面）を表示します。この画面には、2つの画面があります。



[CREATE PROJECT画面-1]

この画面では、次の設定を行います。

Project Name：“**Project Name**”ボタンを押すことにより、プロジェクト名を編集する画面を表示します。プロジェクト名と以下のシーン名の最大文字数は、31文字です。32文字目以降は、切り捨てられます。

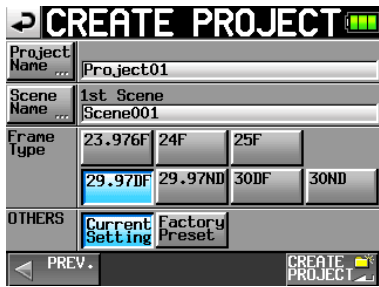
“**PROJECT NAME**”画面（プロジェクト名編集画面）では、最大文字数以内の背景が黄色く表示されます。

Scene Name：“**Scene Name**”ボタンを押すことにより、最初に作るシーン名を編集する画面を表示します。

Fs：プロジェクトのサンプリング周波数を設定します。48k-0.1%はプルダウン、48k+0.1%はプルアップに対応したサンプリング周波数です。

BWF Chunk Fs：BWFチャンクに書き込むFsの形式を選択します。実際のFs値を書き込む場合は、“**Actual Rate**”を選択します。プルアップ/プルダウン時に、48k+0.1%/−0.1%のFs値ではなく48kを書き込む場合は、“**Fake Rate**”を選択します。

NEXT：次の画面を表示します。



[CREATE PROJECT画面-2]

Frame Type : タイムコードのフレームタイプを選択します。

OTHERS : その他のプロジェクトの設定を、現在の設定値にするか、工場出荷時の設定値にするかを選択します。

3. 設定が終了したら、“CREATE PROJECT” ボタンを押します。

メモ

同じプロジェクト名のプロジェクトが存在する場合は、“CREATE PROJECT” ボタンが灰色表示になり新規プロジェクトを作成することができません。この場合は、プロジェクト名を変更してください。

4. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK” ボタンを押します。



プロジェクトの作成が完了したら、ホーム画面に戻ります。

メモ

新規プロジェクトを作成直後は、作成したプロジェクトがカレントプロジェクト（現在ロード中のプロジェクト）となります。カレントプロジェクトは、“PROJECT”画面(プロジェクト画面)において、プロジェクト名の左にあるフォルダアイコンに“C”が表示されます。

プロジェクト名を編集する

1. “CREATE PROJECT”画面(プロジェクト作成画面)で、“Project Name”ボタンを押します。以下の“PROJECT NAME”画面を表示します。



プロジェクト名表示エリア : 入力したプロジェクト名を表示します。

キャラクターボタン : プロジェクト名を入力します。

BSボタン : カーソルの手前の文字を削除します。

DELボタン : カーソルの後ろの文字を削除します。

Shiftボタン : 数字/記号ボタンのキャラクターを切り換え、英字の大文字/小文字を切り換えます。

Capsボタン : 英字を大文字にします。

Spaceボタン : スペースを挿入します。

<- / ->ボタン : カーソルを移動します。

Enterボタン : 入力を確定します。

メモ

“PROJECT NAME”画面を表示しているときは、左サイドパネルのKEYBOARD端子に接続した外部キーボードを使用して名前を入力することができます。

2. “PROJECT NAME”画面の“Enter”ボタンまたはDATAダイヤルを押して、プロジェクト名を確定します。

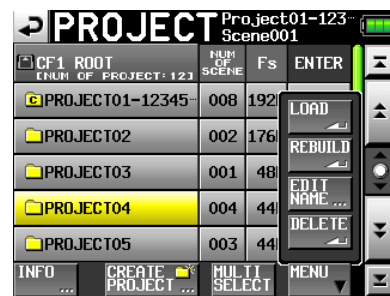
入力文字数制限について

プロジェクト名表示エリアでは、最大文字数以内の背景が黄色く表示されます。最大文字数を超えた部分の背景は灰色で表示され、“Enter”ボタンを押すと切り捨てられます。

後からプロジェクト名を変更する

1. “PROJECT”画面(プロジェクト画面)で、名前を編集したいプロジェクトを選択します。選択されたプロジェクト名の背景が黄色くなります。

2. “MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



メモ

複数のプロジェクトを選択している場合は、“EDIT NAME”（プロジェクト名の編集）は選択できません。

3. プルアップメニュー項目内の“EDIT NAME”ボタンを押して、“PROJECT NAME”画面を表示します。

4. プロジェクト名を入力します。入力方法は、上記と同じです。

5. “PROJECT NAME”画面の“Enter”ボタンまたはDATAダイヤルを押すとプロジェクト名を確定し、プロジェクト画面に戻ります。

最初に作るシーン名を編集する

“CREATE PROJECT” 画面で、“Scene Name” ボタンを押します。以下の“SCENE NAME” 画面を表示します。



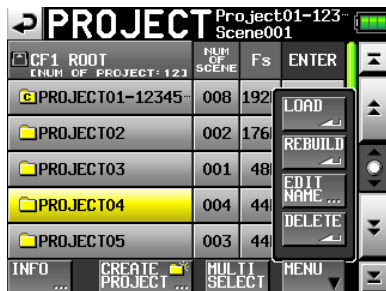
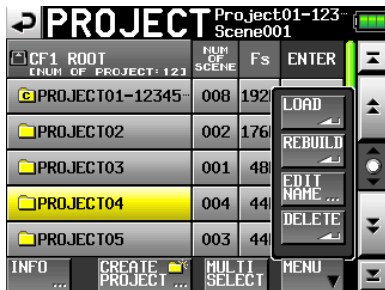
名前への入力方法は、34ページ「プロジェクト名を編集する」と同じです。

メモ

シーン名は、テイクファイル名にも使われているため、後から変更することはできません。

プロジェクトをロードする

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT” 画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. ロードしたいプロジェクトを選択します。
3. “MENU” ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

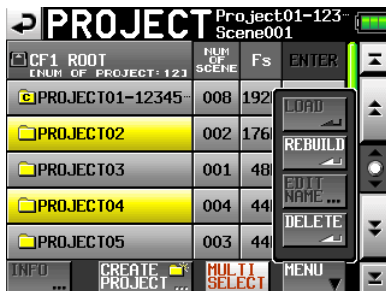


[1つのプロジェクトを選択した場合]

メモ

複数のプロジェクトを選択している場合は、“LOAD”（プロジェクトのロード）は選択できません。

4. プルアップメニュー項目内の“LOAD” ボタンを押します。
5. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK” ボタンまたはDATAダイヤルを押します。ロードが完了すると、ホーム画面を表示します。



[複数のプロジェクトを選択した場合]

メモ

プロジェクトをロードした際は、最後にロードしたシーンがロードされ、そのシーン内でテイク番号の一番大きなテイクがロードされます。

プロジェクトを再構築する

本機で録音していないデータを再生する場合（本機でシーンコピーしたり、パソコンから本機で再生できるオーディオファイルをシーンにコピーした場合は、プロジェクトの再構築を行うことで、これらのファイルを本機で再生できるようになります。

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT” 画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. 再構築したいプロジェクトを選択します。“PROJECT” 画面の“MULTI SELECT” ボタンを押して、複数のプロジェクトを選択することもできます。
3. “PROJECT” 画面内の“MENU” ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

4. プルアップメニュー項目内の“REBUILD” ボタンを押します。
5. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK” ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



第5章 プロジェクト

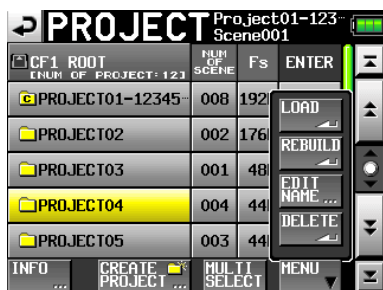
再構築中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。再構築が完了すると、ポップアップウィンドウ表示が消えます。

メモ

“PROJECT”画面（プロジェクト画面）において、何も選択しない状態で再構築を実行すると、選択されたCFカード全体を再構築します。

プロジェクトを削除する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. 削除したいプロジェクトを選択します。“PROJECT”画面の“MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のプロジェクトを選択することもできます。
3. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



4. プルアップメニュー項目内の“DELETE”ボタンを押します。
5. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。削除が完了すると、ポップアップウィンドウ表示が消えます。

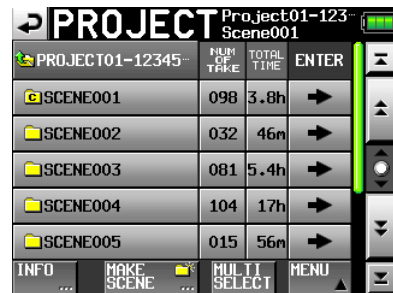
注意

プロジェクトを削除すると、プロジェクトに含まれるすべてのシーンとテイクも削除されます。

シーンの操作

新規シーンを作成する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. 該当するプロジェクトの“→”ボタンを押して、シーン画面を表示します。



3. “MAKE SCENE”ボタンを押して、シーン名を入力する“MAKE SCENE”画面を表示します。



シーン名入力方法は、34ページ「プロジェクト名を編集する」と同じです。

メモ

シーン名の先頭に“@”は使えません。

4. “Enter”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。
5. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押して、シーン名を確定します。

メモ

新規シーン作成直後は、作成したシーンがカレントシーン（現在ロード中のカレントシーン）になります。

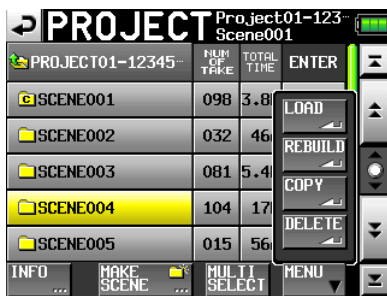
カレントシーンは、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）において、シーン名の左にあるフォルダアイコンに“C”が表示されます。



シーン作成中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。シーンの作成が完了したら、ポップアップウィンドウ表示が消えます。

シーンをロードする

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. ロードしたいシーンを含むプロジェクトの“→”ボタンを押して、シーン画面を表示します。
3. ロードしたいシーンを選択します。
4. “MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



5. プルアップメニュー項目内の“LOAD”ボタンを押します。
6. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



ロードが完了すると、ホーム画面を表示します。

メモ

シーン名の左にあるフォルダアイコンに“C”が表示されたシーンが、カレントシーンです。

シーンを再構築する

本機で録音していないデータを再生する場合（本機でシーンコピーしたり、パソコンから本機で再生できるオーディオファイルをシーンにコピーした場合）は、シーンの再構築を行うことで、これらのファイルを本機で再生できるようになります。

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. 再構築したいシーンを含むプロジェクトの“→”ボタンを押して、シーン画面を表示します。
3. 再構築したいシーンを選択します。“MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のシーンを選択することもできます。
4. “MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



5. プルアップメニュー項目内の“REBUILD”ボタンを押します。
6. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



再構築中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。再構築が完了すると、ポップアップウィンドウ表示が消えます。

メモ

再構築したいシーンのテイク選択画面でも、シーンを再構築することができます。

シーンをコピーする

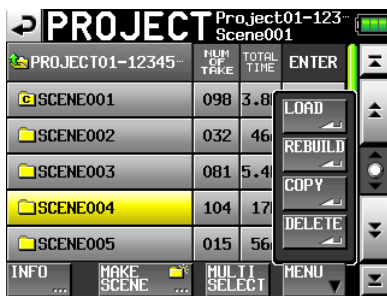
コピーはCF1からCF2に、またはCF2からCF1に行います（CFカードが2枚必要です）。

シーンのコピーをすると、コピー先にも同じディレクトリ構造を作ります。

注意

- コピーしたシーンを本機で再生する場合は、プロジェクトの再構築、またはシーンの再構築をしてください。
- プロジェクト内にサンプリング周波数の異なるシーンをコピーすると、シーンの再構築が出来なくなります。

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. コピーしたいシーンを含むプロジェクトの“→”ボタンを押して、シーン画面を表示します。
3. コピーしたいシーンを選択します。“MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のシーンを選択することもできます。
4. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



5. プルアップメニュー項目内の“COPY”ボタンを押します。
6. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



コピー中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。コピーが完了すると、ポップアップウィンドウ表示が消えます。

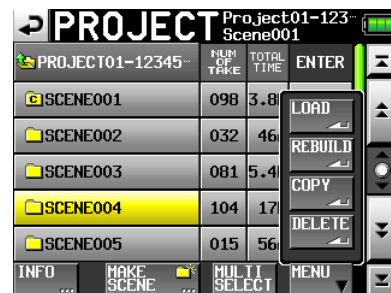
メモ

コピー先のCFカードに同名シーンがあった場合は、上書き確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されます。“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押すと上書きコピーします。



シーンを削除する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. 削除したいシーンを含むプロジェクトの“→”ボタンを押して、シーン画面を表示します。
3. 削除したいシーンを選択します。“MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のシーンを選択することもできます。
4. “PROJECT”画面内の“MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



5. プルアップメニュー項目内の“DELETE”ボタンを押します。
6. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。削除を完了すると、ポップアップウィンドウ表示が消えます。

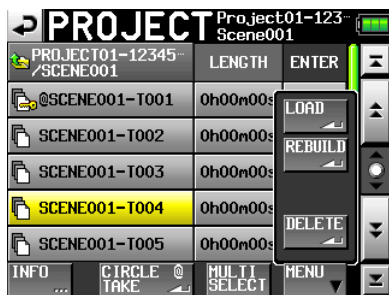
注意

シーンを削除すると、シーンに含まれるすべてのテイクも削除されます。

テイクの操作

テイクをロードする

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. ロードしたいテイクを含むプロジェクトの“→”ボタンを押します。
3. ロードしたいテイクを含むシーンの“→”ボタンを押します。テイクリスト画面が表示されます。
4. ロードしたいテイクを選択します。
5. “MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



6. プルアップメニュー項目内の“LOAD”ボタンを押します。

メモ

ロードしたいテイクの“→”ボタンを押しても、テイクをロードすることができます。

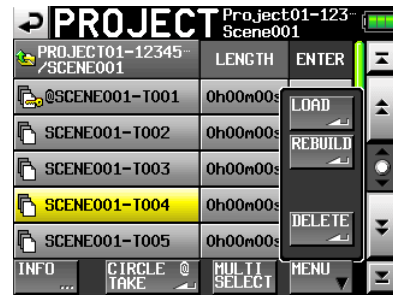
7. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



ロードが完了すると、ホーム画面を表示します。

テイクを削除する

1. フロントパネルのPROJECTキーを押して、“PROJECT”画面（プロジェクト画面）を表示します。
2. 削除したいテイクを含むプロジェクトの“→”ボタンを押します。
3. 削除したいテイクを含むシーンの“→”ボタンを押します。
4. 削除したいテイクを選択します。“MULTI SELECT”ボタンを押して、複数のテイクを選択することもできます。
5. “MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



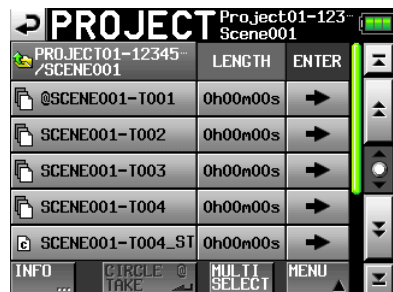
6. プルアップメニュー項目内の“DELETE”ボタンを押します。
7. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。削除が完了すると、ポップアップウィンドウ表示が消えます。

テイク名に@を付ける／削除する

テイクを選択し、“CIRCLE TAKE”ボタンを押すと、テイク名の先頭に“@”を付けたり、削除したりすることができます。



ヒント

OKテイクに“@”を付けるなどの運用ができます。

注意

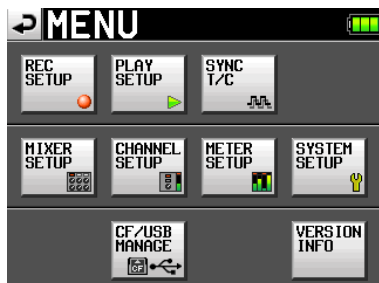
テイク名を編集することはできません。

第6章 内部設定詳細

この章では、内部設定の詳細を説明します。

メニュー画面

フロントパネルのMENUキーを押すと以下の“MENU”画面を表示します。



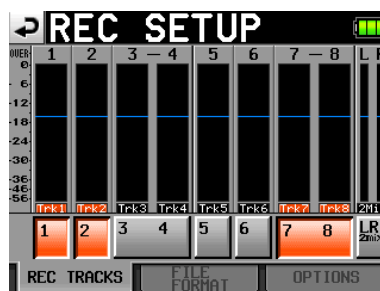
- REC SETUP ボタン
録音の設定を行います。
- PLAY SETUP ボタン
一つのテイクだけの再生かすべてのテイクの再生かを選択します。
- SYNC T/C ボタン
同期およびタイムコード関連の設定を行います。
- MIXER SETUP ボタン
ミキサーの設定を行います。
- CHANNEL SETUP ボタン
各チャンネルの設定を行います。
- METER SETUP ボタン
レベルメーターの設定を行います。
- SYSTEM SETUP ボタン
システム設定を行います。
- CF/USB MANAGE ボタン
CFカードとUSBの操作をします。
- VERSION INFO ボタン
SYSTEMのバージョンを表示します。

録音設定 (REC SETUP)

“REC SETUP”画面には、“REC TRACKS”タブ画面、“FILE FORMAT”タブ画面、“OPTIONS”タブ画面の3つのタブ画面があります。画面下のタブで、タブ画面を選択します。

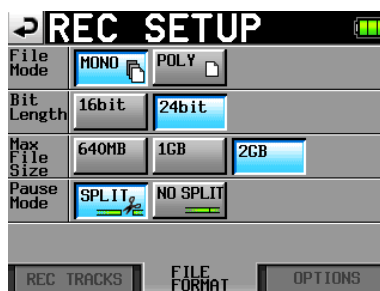
REC TRACKSタブ画面

レベルメーターの下のレコードファンクションボタンを押して、録音するトラックをオン、録音しないトラックをオフにします。レコードファンクションがオンのときは、ボタンの背景が赤くなります。(初期設定状態：すべてオフ(ボタンが押されていない状態))



FILE FORMATタブ画面

ファイルフォーマットを設定します。



File Mode

録音するファイルモードを設定します。

MONO (初期値)：各トラックをモノラルのファイルとして扱います。

POLY：複数のトラックを一かたまりのファイルとして扱います。

Bit Length

録音するファイルの量子化ビット数を設定します。

設定ボタン：“16bit”、“24bit” (初期値)

Max File Size

録音するファイルの最大サイズを設定します。

設定ボタン：“640MB”、“1GB”、“2GB” (初期値)

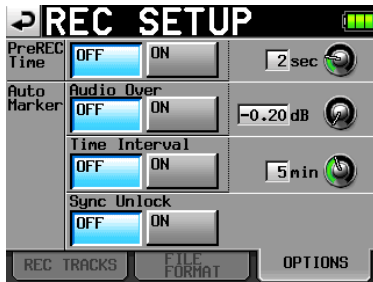
Pause Mode

録音一時停止時にファイルを分割するかどうかを設定します。

設定ボタン：“SPLIT” (初期値)、“NO SPLIT”

OPTIONSタブ画面

プリレック、オートマーカーの設定を行います。



PreREC Time

プリレック動作のオン/オフ設定とプリレック動作時間の設定を行います。(初期設定状態：“OFF”)

“PreREC Time” の設定が “ON” のときは、録音待機中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録音開始時に最大2秒前から録音することができます。

プリレックタイムの設定は、つまみの部分を押し、DATAダイヤルで行います。設定値は、“1”秒～“5”秒です。(初期値：“2”秒)

Auto Marker

オートマーカーの設定を行います。

Audio Over：オーディオレベルを検知してマークを付けます。設定したレベルを超えた場合に、マークを付けます。オン/オフ設定と時間の設定を行います。(初期設定状態：“OFF”) レベルの設定は、つまみの部分を押し、DATAダイヤルで行います。設定値は “-0.20dB” (初期値)、“-0.17dB”、“-0.13dB”、“-0.10dB”、“-0.06dB”、“-0.03dB” です。ここでの設定は、“METER SETUP” 画面 (レベルメーター設定) の “Over Level” 設定にも反映されます。

Time Interval：一定時間ごとにマークを付けます。オン/オフ設定と時間の設定を行います。(初期設定状態：“OFF”) 時間の設定は、つまみの部分を押し、DATAダイヤルで行います。設定値は “1” 分～ “10” 分です。(初期値：“5” 分)

Sync Unlock：マスタークロックとの同期が外れたときにマークを付けます。オン/オフ設定を行います。(初期設定状態：“OFF”)

メモ

“Audio Over” (オーディオオーバー) とは、最大レベル (フルビット) からユーザーが設定した値を引いたレベルを超えることです。(上記の例では、最大レベルから0.20dB引いたレベルを超えた場合になります。)

再生設定 (PLAY SETUP)



Play Mode (初期設定状態：“One Take”)

テイクを再生する方法を設定します。

One Take：現在選択しているテイクのみを再生します。

All Take：現在ロードしているプロジェクトのシーン内にあるテイクをすべて再生します。

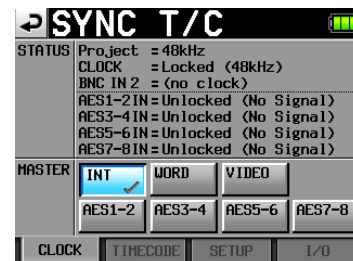
シンク、タイムコード設定 (SYNC/TC)

オーディオ同期とタイムコードの設定を行います。

“SYNC T/C” 画面には、“CLOCK” タブ画面、“TIMECODE” タブ画面、“SETUP” タブ画面、“I/O” タブ画面の4つのタブ画面があります。画面下のタブで、タブ画面を選択します。

CLOCKタブ画面

各種クロックの状態表示および同期するクロックを選択します。



“STATUS” 欄の “AESx-x IN” (“x-x” はチャンネルを表す) にはデジタル入力信号の状態が、下記のように表示されます。

- Lock時：
 - “Locked (xx.xxxkHz)”
- FsConvertが “ON” の場合：
 - “Locked (xx.xxxkHz FsCnv)”
- Unlock時：
 - “Unlocked (xx.xxxkHz)”
- 無信号時：
 - “Unlocked (no signal)”
- 非オーディオ信号時：
 - “Not Audio”
- Cbit情報がプロフェッショナルでない場合：
 - “Not Professional”
- その他Cbit情報と実際の動作モードが違う場合：
 - “Unmached Cbit”

第6章 内部設定詳細

使用するマスタークロックを、“MASTER”項目の中から選択します。

INT (初期値) : 本機の内部クロックを使用します。

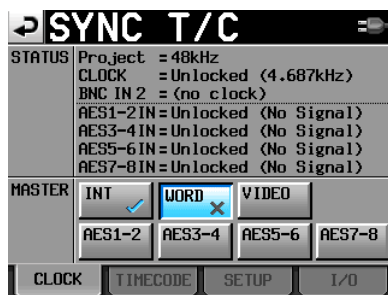
WORD : CASCADE/WORD/VIDEO IN端子に入力されるワードクロックに同期します。

VIDEO : CASCADE/WORD/VIDEO IN端子に入力されるビデオクロックに同期します。

AES1-2 ~ AES7-8 : DIGITAL I/O端子に入力されるAES/EBUデジタル信号のクロックに同期します。サンプリングレートコンバーターがオンのデジタル入力、マスタークロックに選択できません。

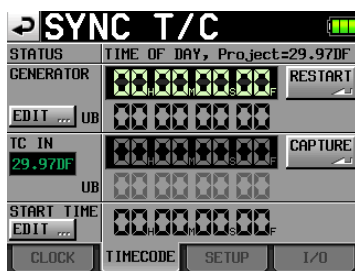
メモ

- 動作中のクロックのボタンには“✓”マークが表示されます。
- 外部クロックの同期が外れた場合は、内部クロックで動作します。この際、動作クロックである“INT”ボタンに“✓”マークが表示され、同期が外れている選択ボタンには“×”マークが表示されます。

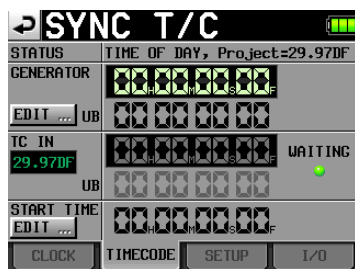


TIMECODEタブ画面

タイムコード関連の設定を行います。



[フリーランモード時]



[フリーワンス、ジャムシンク時]

STATUS

本機のタイムコードジェネレーターのモードとカレントプロジェクトのタイムコードのフレームタイプを表示します。

GENERATOR

上段に現在のタイムコードジェネレーターの時刻を表示します。下段にユーザーズビットを表示します。

“GENERATOR”項目の“EDIT”ボタン、もしくはユーザーズビットの表示部を押すと“T/C USER BITS”画面（ユーザーズビットの設定画面）を表示します。

タイムコードジェネレーターがフリーランモードの場合は、“RESTART”ボタンを押すと、タイムコードジェネレーターのタイムコードをスタートタイムに戻します。

TC IN

上段に入力タイムコード時刻とフレームタイプを表示します。下段に入力タイムコードのユーザーズビットを表示します。

“FREE RUN”時、“CAPTURE”ボタンを押すと、現在のタイムコード時刻を取り込み、タイムコードジェネレーターのタイムコードに設定します。

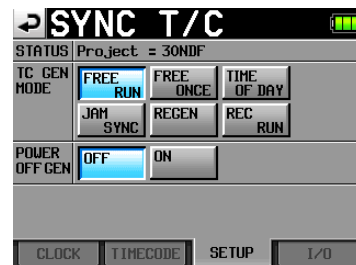
タイムコードジェネレーターのモードが“FREE ONCE”、あるいは“JAM SYNC”時、タイムコード待ちの状態では、キャプチャー状態表示 (“WAITING”インジケーター)が緑に点灯し、タイムコードをキャプチャーすると消えます。

START TIME

“GENERATOR”項目の“RESTART”ボタンを押したときに、タイムコードを再開する時刻を表示します。“START TIME”項目の“EDIT”ボタン、もしくはスタートタイム表示部を押すと“START TIME”画面（スタートタイム設定画面）を表示します。

SETUPタブ画面

タイムコードジェネレーターの設定を行います。



STATUS

本機のタイムコードジェネレーターのモードとカレントプロジェクトのタイムコードのフレームタイプを表示します。

TC GEN MODE

タイムコードジェネレーターをモードを設定します。

FREE RUN : タイムコードジェネレーターが自走します。

FREE ONCE (初期値) : 入力タイムコードを一度キャプチャーすると、その後はフリーランモードで自走します。

TIME OF DAY : 電源投入時、“TC GEN MODE”を本モードに変更したとき、および内蔵時計を再設定したときに、内蔵時計の時間をキャプチャーし、フリーランモードで自走します。

JAM SYNC : タイムコードが入力されているときは、入力タイムコードに同期します。タイムコードの入力が無くなると、フリーランモードで自走します。

REGEN : 入力タイムコードに同期します。

REC RUN : 録音時のみタイムコードジェネレーターが動作します。録音以外では、タイムコードジェネレーターは止まります。

POWER OFF GEN

タイムコードジェネレーターが走行中に電源を切った場合は、電源を切った後も、タイムコードジェネレーターが走り続けるような動作させるかどうかを設定します。(初期設定状態：“OFF”)

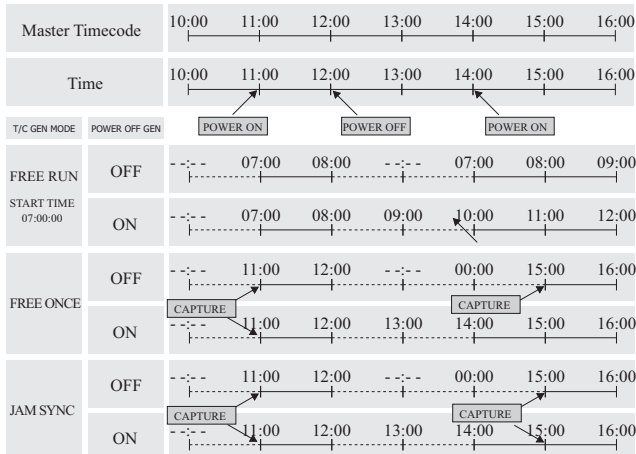
“TIME OF DAY”、“REGEN”、“REC RUN” モード時は、本設定は無効です。

設定 “ON” 時はタイムコードが進み続けるので、再度電源を投入したとき、連続した時間でタイムコードジェネレータがスタートします。

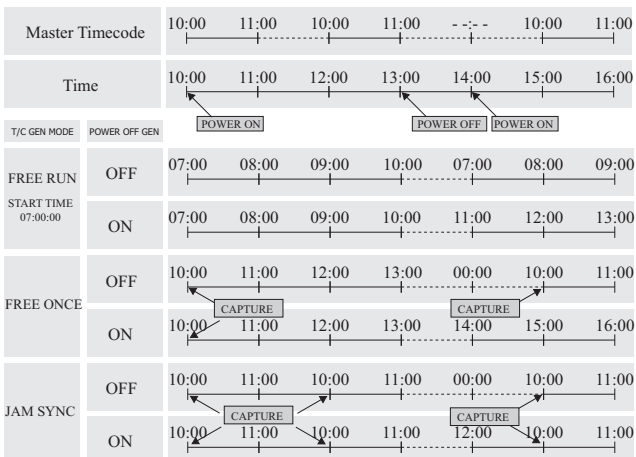
これにより、再キャプチャなどの作業が不要になります。

ただし、本機能は内蔵時計を元に補間するため、再起動後にリスタートするタイムコードの値は、若干の誤差を生じることがあります。また、フレームタイプが23.976F、29.97DF、29.97ND、30DFの場合は、誤差が大きくなります。

ケース1：マスタータイムコードが連続している場合



ケース2：マスタータイムコードが連続していない場合



CAPTURE

本機のタイムコード入力端子にマスタータイムコードを入力し、その入力されたマスタータイムコードを本機が認識することです。

I/Oタブ画面

“BNC OUT1” および “BNC OUT2” の出力ソースの設定を行います。



STATUS

同期信号の状況を表示します。

BNC OUT1

TIME CODE/DIGITAL OUT (OUT 1) 端子から出力する信号を選択します。

設定ボタン：“TIME CODE”、“AES3id 2MIX” (初期値)

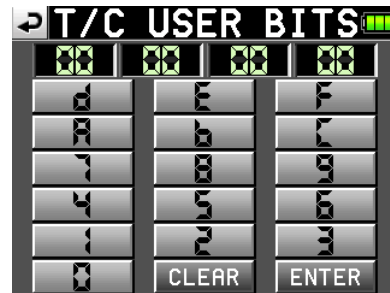
BNC OUT2

CASCADE/WORD (OUT 2) 端子から出力する信号を選択します。

設定ボタン：“WORD OUT” (初期値)、“WORD THRU”

T/C USER BITSの編集

“TIMECODE” タブ画面 “GENERATOR” 項目の “EDIT” ボタン、もしくはユーザーズビット表示部を押すと、出力タイムコードのユーザービットの編集ができます。



8桁のデータを16進数で入力します。

入力する桁を選択せずに入力すると、最下位桁から順に入力します。入力する桁を選択する場合は、その桁を押し、背景を黄色く反転させ、数字ボタンもしくはDATAダイヤルを使って、2桁ずつ入力します。

“ENTER” ボタンを押して、確定します。

“CLEAR” ボタンで入力値をゼロクリアします。

ヒント

- 日付などに使用します。
- PS/2キーボードを使っての編集も可能です。ESCキーを押すとゼロクリアします。

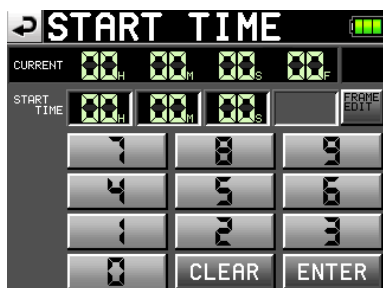
START TIMEの編集

“TIMECODE” タブ画面 “START TIME” 項目の “EDIT” ボタンまたはスタートタイムの表示部を押すと、タイムコードジェネレーターのスタートタイムの設定ができます。

“START TIME” 画面の “FRAME EDIT” ボタンでフレーム値まで入力するかどうかを設定します。



[フレームエディットオン状態]



[フレームエディットオフ状態]

数字ボタンを使って、タイムコードジェネレーターのスタートタイムを入力します。

入力する桁を選択せずに入力すると、最下位桁から順に入力します。入力する桁を選択する場合は、その桁を押し、背景を黄色く反転させ、数字ボタンもしくはDATAダイヤルを使って、2桁ずつ入力します。

“ENTER” ボタンを押して、確定します。

“CLEAR” ボタンで入力値をゼロクリアします。

ヒント

PS/2キーボードを使っての編集も可能です。ESCキーを押すとゼロクリアします。

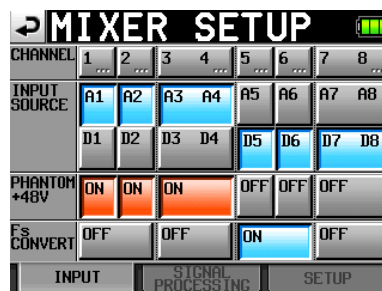
ミキサー設定 (MIXER SETUP)

ミキサーの設定を行います。

“MIXER SETUP” 画面には、“INPUT” タブ画面、“SIGNAL PROCESSING” タブ画面、“SETUP” タブ画面の3つのタブ画面があります。画面下のタブで、タブ画面を選択します。

INPUTタブ画面

入力の設定を行います。



INPUT SOURCE

各チャンネルの入力ソースを選択します (A1-A8: アナログ入力, D1-D8: デジタル入力)。(初期設定状態: “A1” - “A8”)

PHANTOM POWER +48V

各入力のファントム電源のオン/オフ設定を行います。“ON” のときは、背景が赤くなります。(初期設定状態: すべて “OFF”)

Fs CONVERT

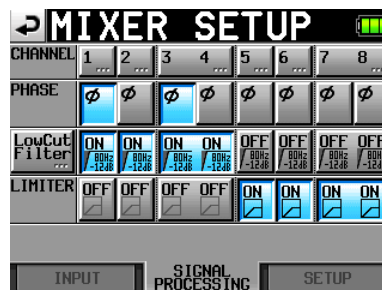
サンプリングレートコンバーターのオン/オフ設定を行います。(初期設定状態: すべて “OFF”)

マスタークロックに選択されているデジタル入力のサンプリング周波数は、“ON” にできません。

最上段のチャンネルボタンを押すと、“CHx SETUP” 画面 (チャンネル設定画面、“x” はチャンネルを表す) を表示します。

SIGNAL PROCESSINGタブ画面

フェーズ、ローカットフィルター、リミッターのオン/オフ設定を行います。



PHASE (φボタン)

フェーズの切り換えを行います。フェーズは、180° 固定です。(初期設定状態: すべてオフ (ボタンが押されていない状態))

Low Cut Filter

ローカットフィルターのオン/オフ設定を行います。“Low Cut Filter” ボタンを押すと、ローカットフィルターの設定画面を表示します。(初期設定状態：すべて “OFF”)

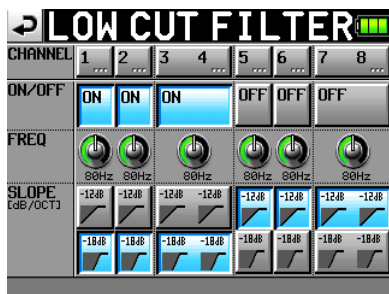
LIMITER

リミッターのオン/オフ設定を行います。(初期設定状態：すべて “OFF”)

最上段のチャンネルボタンを押すと、“CHx SETUP” 画面（チャンネル設定画面、“x” はチャンネルを表す）を表示します。

LOW CUT FILTER (ボタン)

“MIXER SETUP” 画面（ミキサー設定画面）の“SIGNAL PROCESSING” タブ画面の“LowCutFilter” ボタンを押すことで、“LOW CUT FILTER” 画面を表示します。



ON/OFF

ローカットフィルターをオン/オフ設定を行います。(初期設定状態：すべて “OFF”)

FREQ

カットオフ周波数を設定します。このつまみを押し、DATAダイヤルで周波数を調節します。設定値は“40Hz”、“80Hz”（初期値）、“120Hz”です。

SLOPE

フィルターのスロープを選択します。設定値は“-12dB/OCT”（初期設定状態）と“-18dB/OCT”です。

最上段のチャンネルボタンを押すと、“CHx SETUP” 画面（チャンネル設定画面、“x” はチャンネルを表す）を表示します。

SETUPタブ画面

チャンネル名、チャンネルリンクの設定を行います。



CH NAME

チャンネル名の編集画面を表示します。

CH Link

チャンネルリンクのオン/オフ設定を行います。(初期設定状態：すべて “OFF”)

リンクしたチャンネルは、下記パラメータが連動します。

- 2MixLVLつまみ
- ソロ
- ローカットフィルター
- リミッター
- レコードファンクション
- インプットソース（アナログ/デジタル切り換え）
- ファントム電源のオン/オフ設定

PANつまみは、バランスつまみとなります。

リンクしたチャンネルでは、どちらかのチャンネルが過大入力になると両チャンネルにリミッターが掛かります。

ただし、過大入力となったチャンネルのみオーバーロードインジケータが青く点灯します。

最上段のチャンネルボタンを押すと、“CHx SETUP” 画面（チャンネル設定画面、“x” はチャンネルを表す）を表示します。

CHx NAME (ボタン)

チャンネル名を編集します。（“x” はチャンネルを表す）

“Shift” ボタン、“Caps” ボタンで文字種を切り換えます。



名前への入力方法は、34ページ「プロジェクト名を編集する」と同じです。チャンネル名の最大文字数は、4文字です。

チャンネル設定 (CHANNEL SETUP)

各チャンネルの設定を行います。

画面下のタブで、チャンネルを選択します。



PHANTOM +48Vボタン：ファントム電源のオン/オフ設定を行います。(初期設定状態：オフ (ボタンが押されていない状態))

Fs CONVERTボタン：サンプリングレートコンバーターのオン/オフ設定を行います。(初期設定状態：オフ (ボタンが押されていない状態))

Ax/Dx (“x” はチャンネルを表す) ボタン：入力ソースの選択をします。(初期設定状態：“A1” - “A8”)

φボタン：フェーズの切り換えを行います。(初期設定状態：オフ (ボタンが押されていない状態))

Low Cut Filterボタン：ローカットフィルターのオン/オフ設定を行います。(初期設定状態：オフ (ボタンが押されていない状態))

Low Cut Filterつまみ：ローカットフィルターのカットオフ周波数を設定します。このつまみを押し、DATAダイヤルで周波数を調節します。設定値は“40Hz”、“80Hz” (初期値)、“120Hz”です。

-12dB/-18dBボタン：ローカットフィルターのスロープの設定を行います。設定値は“-12dB/OCT” (初期設定状態)と“-18dB/OCT”です。

LIMITERボタン：リミッターのオン/オフ設定を行います。(初期設定状態：オフ (ボタンが押されていない状態))

RECボタン：レコードファンクションのオン/オフ設定を行います。オンのときは、ボタンの背景とレベルメーターのチャンネル名が赤くなります。(初期設定状態：オフ (ボタンが押されていない状態))

レベルつまみ：ステレオバスに送るレベルを調節します。このつまみを押し、背景を黄色く反転させ、DATAダイヤルでレベルを調節します。設定値は“-∞ dB ~ “+10” dBです。(初期設定状態：“0dB”)

パンポットつまみ：ステレオバスに送る定位を調節します。このつまみを押し、背景を黄色く反転させ、DATAダイヤルで定位を調節します。設定値は“L100” ~ “C” ~ “R100”です。(初期設定状態：“C”)

レベルメーター：再生時は、再生レベルを表示します。

再生時以外のレコードファンクションがオンのトラックは、そのトラックの入力信号のレベルを表示します。

レベルメーターの下部は、トラック名表示部 (4文字以下) とレコードファンクションインジケータになっています。該当チャンネルのMIC/LINE選択スイッチがMIC 0またはMIC-25のときにインプットトリムつまみを回すと、メーター下のチャンネル名表示部にゲイン表示値がしばらくの間表示されます。

入力ソースにデジタル入力を選択されているときに、該当するデジタル入力に入力が無い場合、あるいは入力信号が内部設定と異なっている場合は、チャンネルメーター表示部が灰色表示となり、以下の表示をします。(“x-x” はチャンネルを表す)

“AESx-x NO SIGNAL”：入力信号がない場合

“AESx-x UNLOCK”：入力信号がシステムと同期していない場合

“AESx-x NOT AUDIO”：入力信号のCbit情報が非オーディオの場合

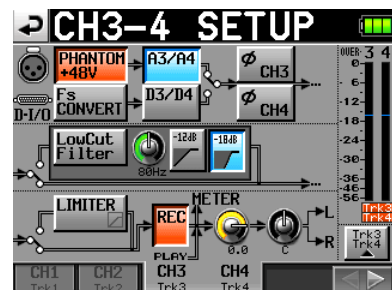
“AESx-x NOT PRO”：入力信号のCbit情報がプロフェッショナルでない場合

“AESx-x Cbit ERROR”：入力信号のその他Cbit情報と実際の動作モードが違う場合

チャンネル名ボタン：チャンネル名の編集画面を表示します。

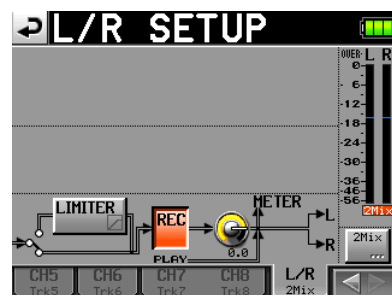
◀▶ ボタン：次のチャンネル設定画面に切り換えます。

チャンネルリンク時は、以下の画面になります。



[チャンネルリンク時のチャンネル設定画面]

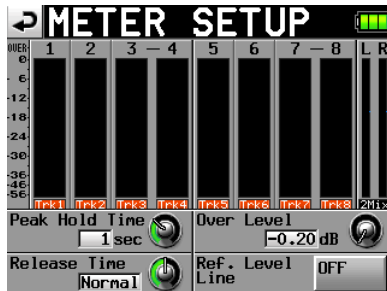
ステレオ (L/R) チャンネルのチャンネル設定画面は、以下の画面になります。



[ステレオチャンネルのチャンネル設定画面]

レベルメーター設定 (METER SETUP)

レベルメーターの設定を行います。



Peak Hold Timeつまみ：ピークホールド時間を設定します。

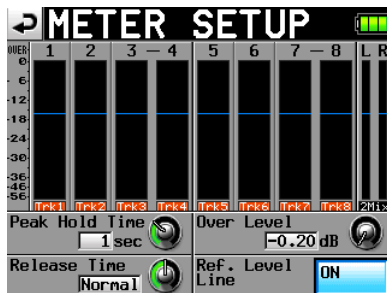
このつまみを押し、DATAダイヤルで時間を設定します。設定値は“0sec”、“1sec”、“2sec”および“inf”表示（常にホールド）です。（初期値：“1sec”）

Release Timeつまみ：リリースタイムを設定します。

このつまみを押し、DATAダイヤルで時間を設定します。設定値は“Slow”、“Normal”、“Fast”から選択します。（初期設定状態：“Normal”）

Over Levelつまみ：オーバードインジケータの点灯レベル（最大レベルから何dB下がったポイントか）を設定します。このつまみを押し、DATAダイヤルでレベルを設定します。設定値は“-0.20dB”（初期値）、“-0.17dB”、“-0.13dB”、“-0.10dB”、“-0.06dB”、“-0.03dB”です。ここでの設定は、“REC SETUP”（録音設定）の“OPTIONS”タブ画面の“Auto Marker”項目の“Audio Over”設定にも反映されます。

Ref. Level Lineボタン：レベルメーター上のリファレンスレベル線の表示のオン/オフ設定を行います。（初期設定状態：“ON”）



[リファレンスレベル線の表示 “ON” 時]

メモ

ホーム画面を表示中にEXIT/CANCEL [PEAK CELAR] キーを押すと、ピークホールド表示をリセットします。

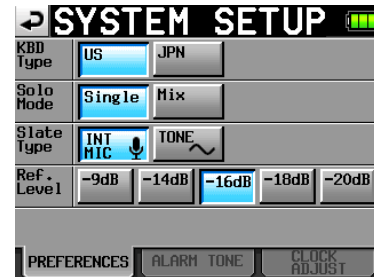
システム設定 (SYSTEM SETUP)

システム設定を行います。

“SYSTEM SETUP”には、“PREFERENCES”タブ画面、“ALARM TONE”タブ画面、“CLOCK ADJUST”タブ画面の3つの画面があります。画面下のタブで、タブ画面を選択します。

PREFERENCESタブ画面

システムの初期設定を行います。



KBD Type

接続するキーボードタイプを“US”（英語対応キーボード）または“JPN”（日本語対応キーボード）に設定します。

設定ボタン：“US”（初期設定）、“JPN”

Solo Mode

ソロモードを設定します。

“Single”を選択すると1トラック毎のソロ、“Mix”を選択すると複数トラックのソロを行うことができます。

設定ボタン：“Single”（初期設定）、“Mix”

Slate Type

スレート信号を、フロントパネルにあるスレートマイク入力にするのか、スレートトーン（内蔵オシレーター）信号にするのかを選択します。

設定ボタン：“INT MIC”（初期設定）、“TONE”

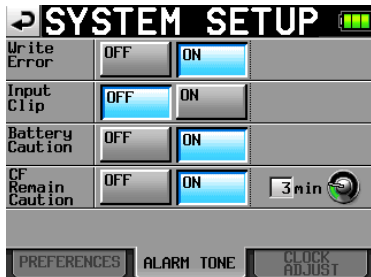
Ref. Level

アナログ入出力のリファレンスレベルを、最大レベル（フルビット）から何dB下がったところにするかを設定します。

設定ボタン：“-9dB”、“-14dB”、“-16dB”（初期値）、“-18dB”、“-20dB”

ALARM TONEタブ画面

警告音の設定を行います。



Write Error

書き込みエラーが起こったときに警告音を出すかどうかの設定を行います。(初期設定状態：“ON”)

Input Clip

過大入力時に警告音を出すかどうかの設定を行います。(初期設定状態：“OFF”)

Battery Caution

バッテリー電圧低下時に警告音を出すかどうかの設定を行います。(初期設定状態：“ON”)

CF Remain Caution

CFカードの残量時間が少なくなったときに警告音を出すかどうかの設定を行います。(初期設定状態：“ON”)

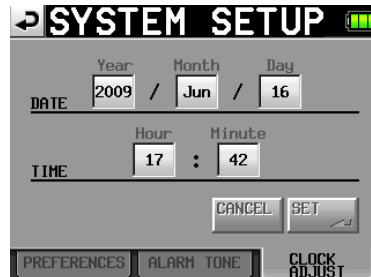
このつまみを押し、背景を黄色く反転させ、DATAダイヤルで残量時間を設定します。設定値は“1min”～“9min”です。(初期値：“3min”)

警告音は、下記のパターンで発音します。

Write Error	— — — — —
Input Clip
CF Remain Caution	— .. — .. — ..
Battery Caution	— . — . — .

CLOCK ADJUSTタブ画面

内蔵時計の時刻設定を行います。



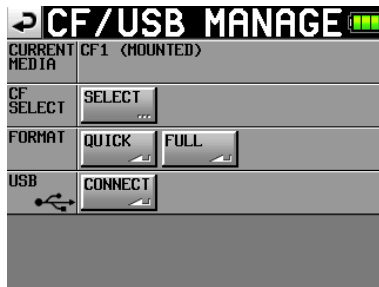
設定する項目を押し、DATAダイヤルで各項目を設定します。“CLOCK ADJUST”タブ画面の“SET”ボタンを押し、またはDATAダイヤルを押し、確定します。

メモ

時刻設定中は、時計は止まり、“:”表示が点灯します。“SET”ボタンを押すと“:”表示が点滅し時計が動き出します。

CFカード、USB接続の管理 (CF/USB MANAGE)

CFカードとUSB接続の操作を行います。



CURRENT MEDIA

現在選択されているメディアを表示します。

CF SELECT

“CF SELECT” 画面（CFカード選択画面）を表示します。録音／再生するCFカードを選択します。

FORMAT

CFカードをフォーマットします。

- “QUICK” : 管理領域のみを初期化します。
- “FULL” : ディスク全面を初期化します。

注意

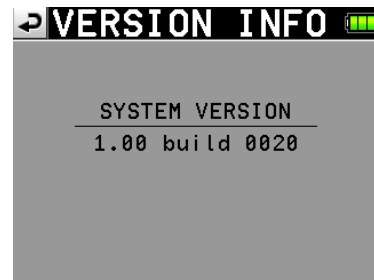
本機でフォーマットした2GB以下のCFカードは、パソコンで確認すると空き容量がゼロと認識され、ファイルやフォルダを書き込みできない場合があります。

USB

パソコンと接続します。(→ 53ページ 「パソコンと接続する」)

バージョン表示 (VERSION INFO)

SYSTEMのバージョンを表示します。



画面中央下部を押すと、内蔵デバイスデータのバージョンを表示します。



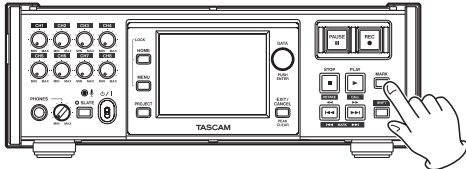
第7章 マーク機能とロケート機能

マーク機能

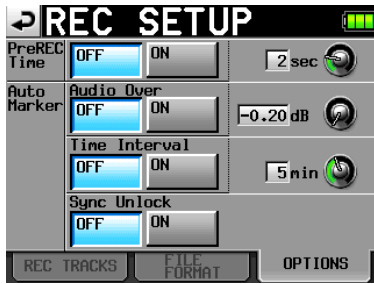
マークを付ける

以下の方法でマークポイントを作成します。
マークポイントは、オートマーカポイントと合わせて1ファイル（テイク）あたり、最大99個まで付けることができます。

- フロントパネルにあるMARKキーを押します。



- オートマーカ機能を使う（→ 41ページ「OPTIONSタブ画面」）



オートマーカ機能オンにすると、オーディオオーバーが発生したとき、一定時間ごと、同期エラーが発生したときに、自動的にマークを付けることができます。マーク名は、それぞれ以下のようになります。

- MARKキー : MARK xx
- オーディオオーバー時 : OVER xx
- 一定時間ごと : TIME xx
- 同期エラー時 : UNLK xx

また、下記のオートマーカは、オン/オフ設定できません。

- 録音開始ポイント : REC xx
- 録音停止ポイント : END xx
- プリレック開始ポイント : PRE xx

メモ

“Audio Over”（オーディオオーバー）とは、最大レベル（フルビット）からユーザーが設定した値を引いたレベルを超えることです。（上記の例では、最大レベルから0.20dB引いたレベルを超えた場合になります。）

キー操作によるマークポイントへのロケート

SHIFTキーを押しながら ◀◀ [I◀◀] キーまたは ▶▶ [▶▶I] キーを押すことにより、一つ先または一つ手前のマークポイントにロケートします。

マークリスト画面


ホーム画面で“Mark List” ボタンを押すと、“MARK LIST” 画面（マークリスト画面）を表示します。



NAMEボタン：マーク名で降順、昇順にソートします。

TIMEボタン：マークポイントで降順、昇順にソートします。

マーク名とマークポイントボタン：マークポイントを選択します。

ロケートボタン（“”）：そのマークポイントにロケートします。

LIST INFOボタン：現在選択しているテイクのマーク種別ごとのマーク数を一覧表示します。


RENUMBERボタン：マークポイントをリナンバーします。マーク時刻を昇順に並べなおし、その順番でマーク名末尾の番号を振りなおします。

DELETEボタン：マークポイントを選択した状態で“DELETE” ボタンを押すと、選択したマークを削除します。

Editボタン：マークポイントを選択した状態で“Edit” ボタンを押すと、選択したマークの編集を行います。

スクロールボタン：リストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、DATAダイヤルでも、1行ずつマークリストをスクロールすることができます。

マークポイントにロケートする

“” ボタンを押すと、該当するマークポイントにロケートします。

マークポイントの情報を見る

“MARK LIST” 画面（マークリスト画面）の“LIST INFO” ボタンを押すと、マークリストインフォメーション画面を表示します。この画面では、現在ロードしているテイクのマーク種別ごとのマーク数を一覧表示します。

再度“LIST INFO” ボタンを押すと、“MARK LIST” 画面（マークリスト画面）に戻ります。



[マークリストインフォメーション画面]

メモ

録音後、マークリストインフォメーション画面において、トータルマーク数が“MANUAL MARK”、“TIME”、“OVER”、“UNLK”の合計よりも2、もしくは3多い場合があります。これは、録音時に必ず作成される“REC”、“END”、“PRE”（プリレック時）のマークポイントが含まれているためです。

マークポイントを削除する

1. “MARK LIST” 画面（マークリスト画面）、またはマークリストインフォメーション画面で、削除したいマークまたはマーク種を選択します。



[マークリスト画面]

TYPE	COUNT
TOTAL	18
MANUAL MARK	2
TIME	5
OVER	10
UNLK	1

[マークリストインフォメーション画面]

2. “DELETE” ボタンを押します。
3. 確認メッセージのポップアップウィンドウが表示されます。“OK” ボタンまたはDATAダイヤルを押すとマークポイントを削除します。

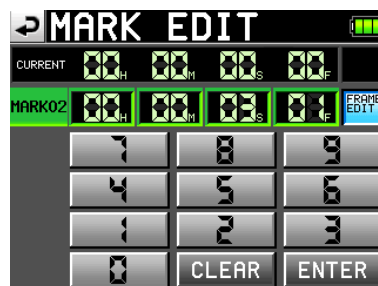


マークポイントを編集する

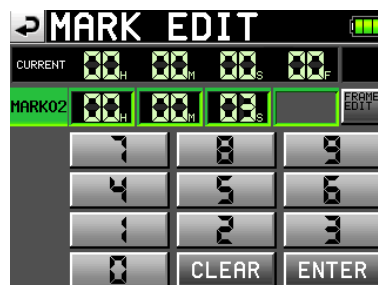
1. “MARK LIST” 画面（マークリスト画面）で、編集したいマークポイントを選択します。



2. “Edit” ボタンを押して、“MARK EDIT” 画面を表示します。“FRAME EDIT” ボタンでフレーム値まで編集するかどうか設定ができます。



[フレームエディットオン状態]



[フレームエディットオフ時]

3. 数字ボタンでマークポイントを入力します。数字を選択してDATAダイヤルで時間変更することもできます。“ENTER” ボタンを押して確定し、マークリスト画面に戻ります。“CLEAR” ボタンで入力値をゼロクリアします。

ヒント

PS/2キーボードを使っでの編集も可能です。Enterキーを押すと確定し、ESCキーを押すとゼロクリアします。

マニュアルロケート機能

時間を直接入力して、ロケートすることができます。

ホーム画面で“Manual Locate” ボタンを押すと、“MANUAL LOCATE” 画面（マニュアルロケート画面）を表示します。

“FRAME EDIT” ボタンを押して、フレーム単位での入力をするかしないかの設定ができます。



[フレームエディットオン状態]



[フレームエディットオフ状態]

ロケートモードには、以下の3つのモードがあります。

ABS：実際にロケートする時間を入力してロケートする。

+：現在時刻からどれだけ進めるのかを入力してロケートする。

-：現在時刻からどれだけ戻すのかを入力してロケートする。

数字ボタンで時間を入力します。数字を選択してDATAダイヤルで時間変更することもできます。

“LOCATE” ボタンを押すとロケートを行い、ホーム画面に戻ります。

“CLEAR” ボタンを押すと、入力値をゼロクリアします。

ヒント

PS/2キーボードを使っての編集も可能です。Enterキーを押すと確定し、ESCキーを押すとゼロクリアします。

第8章 パソコンを使ったデータ送受信

本機とパソコンをUSB接続することで、データの送受信、またフォルダやファイルの構成を確認することが可能です。

ただし、プロジェクト内のファイルの変更や削除をしたり、名称を変更するとHS-P82からそのプロジェクトを再生することが出来なくなる場合があります。ご注意ください。

● パソコンにファイルをコピーするときの注意

HS-P82用のCFカードからパソコンにファイルをコピーするときには、次の点に注意してください。

- 後日HS-P82で正しく再生させたい場合には、フォルダ構成を変更せずにプロジェクトフォルダを丸ごとコピーしてください。フォルダ構成を変更したり、WAVファイルだけをコピーしたりすると、HS-P82でトラック数やトラック番号などが正しい状態で再生できなくなる場合があります。

● パソコンからファイルをコピーするときの注意

パソコンからHS-P82用のCFカードにファイルをコピーするときには、次の点に注意してください。

- コピーしたファイルを再生するには、プロジェクト画面のプロジェクト選択ページで再構築 (REBUILD) を実施してください。
- サンプリング周波数が44.1k、48k、88.2k、96k、176.4k、192kHzで、サンプル・サイズ (ビット数) が16、24 ビットの組み合わせのリニアPCM のWAVファイルのみ、HS-P82で再生することができます。WAVファイル以外はHS-P82では、認識できないため無視されます。
- 異なるサンプリング周波数のファイルを同一プロジェクト内に混在させることはできません。既存のプロジェクトに追加するファイルは、プロジェクトのサンプリング周波数と同じファイルだけにしてください。プロジェクト設定と異なるサンプリング周波数のファイルは再生できません。
- 日本語などの多バイト文字のファイル名やフォルダ名は、正しく表示できません。
- 2GB以上のファイルは、HS-P82用のCFカードにコピーしないでください。HS-P82の動作が不安定になり、CFカード内のファイルが破損する場合があります。

メモ

本章の説明の中で「パソコン」と表記する場合は、本機が対応しているWindowsまたはMacintoshのパーソナルコンピュータを指します。

必要なパソコンシステム

本機と以下のパソコンを接続することができます。

● Windows

Windows XP、Windows Vista、Windows 7

● Mac OS X

Mac OS X 10.2 以上

本機とパソコンを接続すると、パソコンは本機をリムーバブルディスクとして認識します。専用のドライバーは不要です。

メモ

本機とパソコン間のデータ転送は、USB2.0スピード (最大) で行われます。USB2.0のスピードを得るためには、USB2.0に対応したケーブルを使用する必要があります。

注意

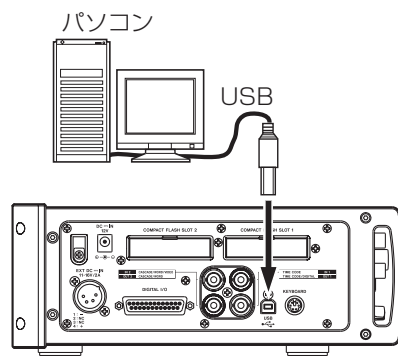
本機でフォーマットした2GB以下のCFカードは、パソコンで確認すると空き容量がゼロと認識され、ファイルやフォルダを書き込みできない場合があります。

パソコンと接続する

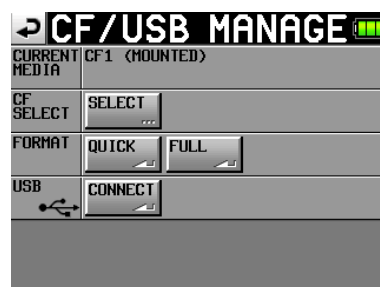
本機をパソコンに接続し、本機で記録したオーディオデータをパソコンに転送することができます。

本機とパソコンの接続は、USB端子を使って行います。

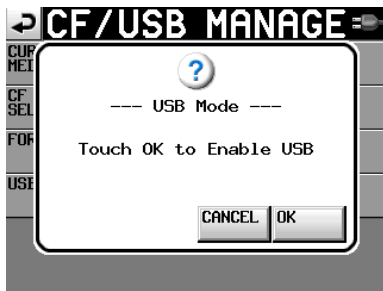
1. 本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。



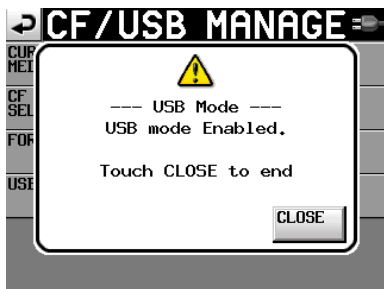
2. “MENU”画面から“CF/USB MANAGE”ボタンを押して、“CF/USB MANAGE”画面 (CF/USB管理画面) を表示します。



3. “USB” 項目の “CONNECT” ボタンを押します。以下のメッセージのポップアップウィンドウが表示されます。



4. “OK” ボタンをクリックするとパソコンと接続を開始します。パソコンと接続中は、以下の画面を表示します。



注意

- 本機への電源供給は、電池またはACアダプターからとなります。USB経由での電源供給は行いません。
- 電池の残量が少ない状態でUSB接続を行わないでください。データ転送中に電源が切れた場合は、データが失われます。また、失われたデータは復活することができません。

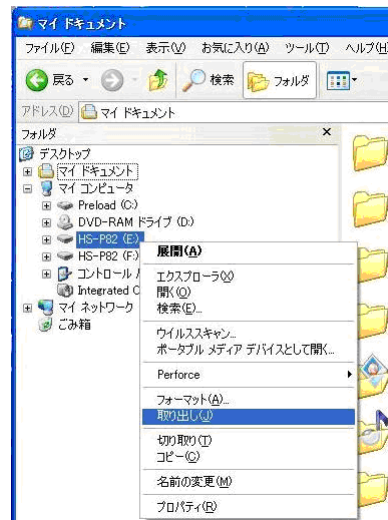
接続を解除する

以下の手順で接続を解除してください。
手順を誤るとファイルの一部が破壊されてしまう場合があります。
必ず手順通りに解除してください。

注意

データを転送中にUSB接続を解除したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
パソコンや本機のデータが破壊される可能性があります。

1. パソコンから接続を解除します。
HS-P82には、CFカードスロットが2基あります。以下の手順で、個々にCFカードを取り外すことができます。
- Windows XP / Windows Vista / Windows 7の場合
エクスプローラで取り出したいCFカードのデバイス（図ではEドライブ）を右クリックし、取り出しを選択します。



メモ

システムトレイ（通常は右下）内の《ハードウェアの安全な取り外し》をクリックし、ハードウェアの取り出しを行った場合は、HS-P82の2つあるCFカードスロット両方とも取り外されます。パソコンと再度接続する場合は、USBケーブルを一旦抜き差ししてください。

● Macintosh の場合

本機のアイコン《HS-P82》をゴミ箱にドラッグするか Command + E 操作を行って、HS-P82を「取り出し」ます。

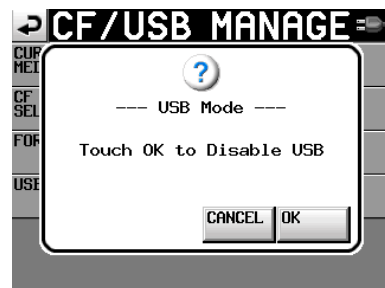
メモ

OSバージョンによっては、Finderウィンドウに表示される《HS-P82》のイジェクトアイコンをクリックしたり、Controlキーを使った操作を行って、取り出すこともできます。

この時点でCFカードの抜き差しが可能になります。続けて他のCFカードを差し込んで作業することも可能です。

2. 本体から接続を解除します。

本機からパソコンとの接続を解除するには、“CANCEL” ボタンを押します。このとき、以下のメッセージのポップアップウィンドウが表示されます。



ポップアップウィンドウ内の“OK” ボタンを押すと、パソコンとの接続を終了し、“CF/USB MANAGE”画面に戻ります。“CANCEL” ボタンを押すと接続中のポップアップウィンドウに戻ります。

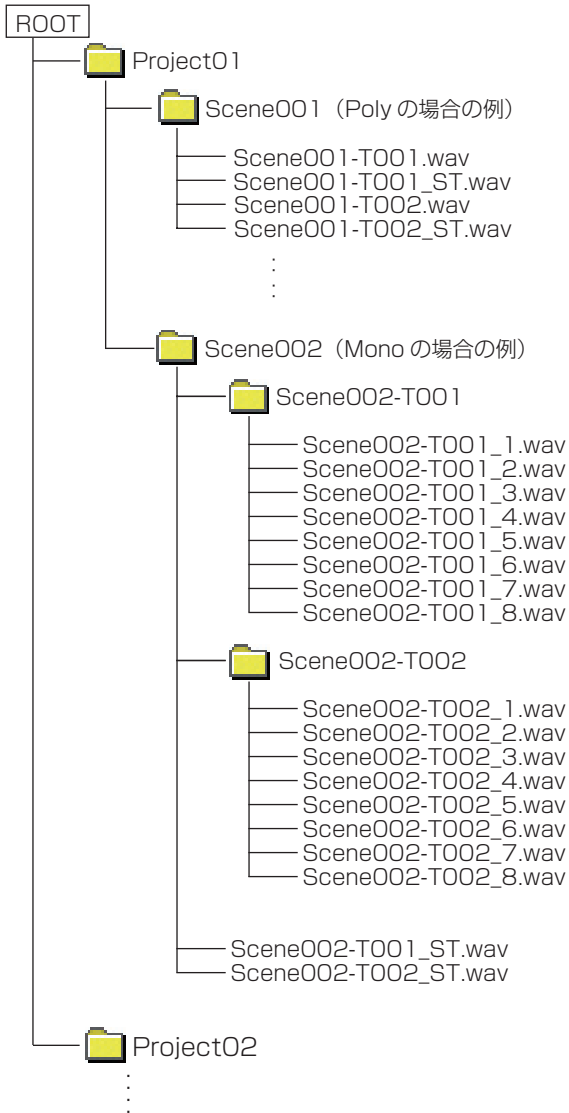
3. USBケーブルを外します。

フォルダ構成

フォルダ構成は、下記のようにになっています。

HS-P82をパソコンに接続してみるとフォルダやファイルの構成を確認することが可能です。

ただし、プロジェクト内のファイルの変更や削除をしたり、名称を変更するとHS-P82からそのプロジェクトを再生することが出来なくなる場合があります。ご注意ください。



メモ

Polyファイルの場合は、Sceneフォルダ直下にファイルが作成されます。

Monoファイルの場合は、Sceneフォルダ下にTake毎のフォルダが作成され、このTake毎のフォルダ下にファイルが作成されます。

ファイル名

ファイルの命名規則は、以下の通りです。

1-8trk Poly ファイル

[シーン名]-[テイク名プリフィックス][テイク番号].wav

1-8trk Mono ファイル

[シーン名]-[テイク名プリフィックス][テイク番号]_[トラック番号].wav

2mix ファイル

[シーン名]-[テイク名プリフィックス][テイク番号]_ST.wav

第9章 トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

● 電源が入らない。

↓

- 電源プラグ等がしっかりと差し込まれているか確認してください。
- バッテリー残量が十分あるか、確認してください。

● メディアを認識しない。

↓

- CFカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

● 再生できない。

↓

- 本機が対応しているサンプリング周波数（44.1k/48k/48k pull-down/48k pull-up/88.2k/96k/176.4k/192kHz）と量子化数（16ビットまたは24ビット）であるかどうかを確認してください。

● 音が出ない

↓

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。

● 録音できない

↓

- 接続をもう一度確認してください。
- 録音レベルを調節してください。

● 設定を変えたのに記憶されていない

- 本機では、設定を変更するたびにバックアップを行っています。電源を切るタイミングによっては、バックアップを失敗してしまう場合がありますので、設定の変更直後に電源を切らないでください。

● 雑音がする

↓

- 接続ケーブルが接触不良になっていないか、確認してください。

● タッチパネルが正しく動作しない

↓

- 市販の液晶画面保護フィルムは使わないでください。
- パネルロック機能にて、ディスプレイにロックが掛けられていませんか？

● プロジェクトが新規作成できない

↓

- 同じ名前のプロジェクトがすでに存在していないか、確認してください。
- CFカードの残り容量が少ない場合は、プロジェクト作成を行えません。不要なデータを削除してから、プロジェクト作成を行ってください。

第 10 章 メッセージ

以下にポップアップウィンドウに表示されるメッセージの一覧表を示します。HS-P82では、状況に応じてポップアップウィンドウが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法	備考
--- error --- INFO WRITING	情報の書き込み中にエラーが発生しました。	
--- FORMAT --- Completed.	フォーマットが完了しました。	
--- FULL FORMAT --- FORMAT CFn? This will erase all data on card Really Continue?	フルフォーマットをします。	n = 1 または 2
--- FULL FORMAT --- Formatting CFn...	フルフォーマット中です。	n = 1 または 2
--- QUICK FORMAT --- FORMAT CFn? This will erase all data on card Really Continue?	クイックフォーマットをします。	n = 1 または 2
--- QUICK FORMAT --- Formatting CFn...	クイックフォーマット中です。	n = 1 または 2
--- RETAKE --- Delete last take? "ttttttttt"	リテイクを行います。	"ttttttttt" = 削除するテイク名
--- Shutdown --- working ...	シャットダウン中です。	
--- USB Mode --- Touch OK To Disable USB	USBモードを終了します。	
--- USB Mode --- Touch OK To Enable USB	USBモードにします。	
--- USB Mode --- USB Mode Enabled. Touch CLOSE To end	USBモード中です。	
AC Adapter Power Lost, Switched to N	AC電源が外れたため、別電源 (N) に切り替えました。	N = "EXTERNAL DC" または "INTERNAL BATTERY"
AESn-n Input: Fs convert On Cannot select as Master clock.	サンプリングレートコンバーターがオンになっているデジタル入力をクロックマスターに選択しようとしています。	n-n = 1-2、3-4、5-6、7-8
Cannot Change Now Currently **ing	再生中/録音中に変更できない項目です。	** = "Play" または "Record".
Cannot Copy Not enough space on CFn	コピー先のカードの容量が不足しています。	n = 1 または 2
Cannot Copy. Scene already exists on CFn. Overwrite Scene?	コピー先に同名シーンが存在します。 上書きしますか？	n = 1 または 2
Cannot create more than 100 projects.	作成可能な最大プロジェクト数に達しているため、新規プロジェクトを作成できません。	
Cannot create new mark point.. Mark point already exists at the same timestamp.	同一時刻にマークが設定されようとしています。マークを同一時刻に設定できません。	
Cannot create new project. Media Full.	カードの空き容量がないので新規プロジェクトは作成できません。	
Cannot increment Take. Interval is too short.	録音開始から4秒未満でRECキーを押されたため、次のテイクの録音を開始できません。	
Cannot make more than 1000 scenes.	作成可能な最大シーン数に達しているため、新規シーンを作成できません。	
Cannot make new scene. Medial Full.	カードの空き容量がないので新規シーンが作成できません。	
Cannot Power Off Now Currently **ing	再生中または録音中は電源オフはできません。	** = "Play"、"Record"または "Work"
Cannot RECORD. (Internal state error)	何らかの原因で録音ができません。	

第 10 章 メッセージ

メッセージ	内容と対処方法	備考
Cannot RECORD. Media Full.	CFカードの容量が不足しているため、録音が始 できません。	
Cannot RECORD. Take limit reached. Please change to another Scene	記録可能な最大テイク数/テイク番号に達してい るため、録音できません。シーンを切り換えて ください。	
Cannot Retake. No Recent Take History.	リテイクできません。	
Cannot set Mark point. Mark limit reached.	マークポイントは99個までしか作成できません。	
Cannot turn Fs convert On. AESn-n Input is already Master Clock.	クロックマスターに選択されているデジタル入力 のサンプリングレートコンバーターをオンに設定 しようとしています。	n-n = 1-2、3-4、5-6、7-8
CFn DEVICE ERROR	CFカードが認識できません。	n = 1 または 2
CFn Format failed	フォーマット中にエラーが発生し、フォーマット を完了できませんでした。	n = 1 または 2
CFn has no projects. Please create a project.	プロジェクトが1つも無いCFカードです。	
CFn is not available.	CFカードがありません。	n = 1 または 2
CFn is not usable	コピーできません。	n = 1 または 2
CFn MEDIUM ERROR	カードの読み込みに失敗しました。	n = 1 または 2
CFn not recommended format for Recording/Playing.	メディアが本機でフォーマットされていないため、 正常な録音再生動作を保証できません。	n = 1 or 2 本機の規定よりも小さいクラスサイズで フォーマットされている際に発生。
CFn not recommended for Recording/Playing. (not UltraDMA)	このカードはシステムの要求する仕様を満たさな いため、録音/再生用として推奨できません。	n = 1 または 2
CFn Read Error	読み取りエラーが発生しました。	n = 1 または 2
CFn unrecognized format Please Format this card.	FAT以外でフォーマットされたカードです。本機 で使用する場合は、フォーマットを行ってください。	n = 1 または 2
CFn unsupported type	このカードはシステムの要求する仕様を満たさな いため、使用できません。	n = 1 または 2
CFn Write Error	書き込みエラーが発生しました。	n = 1 または 2
CFn(vvvvvvvv) NUM OF PROJECTS : p USED SIZE : u FREE SIZE : f TOTAL SIZE : t	CFカード情報表示	n = 1 または 2 vvvvvvv = ボリュームレベル p : プロジェクト数、u : 使用容量 f : 未使用容量、t : CF総容量
Completed	作業が完了しました。	
Copy N selected scene to CFn?	選択したシーンをコピーします。	N = 選択数 n = 1 または 2
Copying scene...	シーンをコピー中です。	
Create new project? "pppppppp" "ssssssss" Fs:**kHz, Frame Type:**F	新規プロジェクトを作成します。	"pppppppp" = 作成するプロジェクト名 "ssssssss" = 作成する最初のシーン名
Create Project failed	プロジェクトの作成に失敗しました。	
Creating Project ...	プロジェクト作成中です。	
Delete all marks of this type? (Count:N)	選択されたタイプのマークを削除します。	N=選択したマークタイプのマーク数。
Delete N selected marks?	選択されたマークを削除します。	N=マーク数
Delete N selected project?	選択したプロジェクトを削除します。	N = 選択数
Delete N selected scene?	選択したシーンを削除します。	N = 選択数
Delete N selected take?	選択したテイクを削除します。	N = 選択数
Deleting Project...	プロジェクトを削除中です。	
Deleting Scene...	シーンを削除中です。	
Deleting Take...	テイクを削除中です。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
Digital Input Error AES1-2 (Unlocked) AES3-4 (no signal) AES5-6 (not audio) AES7-8 (unmatched Cbit)	入力信号として選択されているデジタル入力でのエラーが発生しました。	Unlocked : システムと同期していない no signal : 信号が入力されていない not audio : 入力信号のCbit情報が非オーディオ not professional : 入力信号のCbit情報がコンシューマ unmatched Cbit : 入力信号のその他Cbit情報と実際の動作モードが違う
External Clock Lost, Switched to Internal	外部クロック同期が外れたため、内部クロックに切り換えました。	
External Clock Regained Switch to External?	外部クロック同期が可能な状態になりました。	
EXTERNAL DC Power Lost, Switched to INTERNAL BATTERY	外部DC電源が外れたため、内蔵バッテリーに切り換えました。	
EXTERNAL DC power now available, Switch to EXTERNAL DC?	内蔵電池動作中に外部DC電源が使用可能になりました。	
EXTERNAL DC Voltage too low, Switched to INTERNAL BATTERY	外部DC電源電圧が低下したため、内蔵電池に切り換えました。	
Input Volume Locked Input Volume is locked	インプットボリュームは誤操作防止のためロックされています。	
INTERNAL BATTERY Power Lost, Switched to EXTERNAL DC	内蔵電池が外れたため、外部DC電源に切り換えました。	
INTERNAL BATTERY Voltage too low, Switched to EXTERNAL DC	内蔵電池電圧が低下したため、外部DC電源に切り換えました。	
Last loaded project has no scenes. Please make new scene.	最後に選択したプロジェクトにシーンがありません。新規シーンを作成してください。	
Last loaded project cannot be found. Please select a project.	最後に選択したプロジェクトが見つかりません。プロジェクトを選択してください。	
Last loaded scene cannot be found. Please select a scene.	最後に選択したシーンが見つかりません。シーンを選択してください。	
Load selected project? "pppppppp"	選択したプロジェクトをロードします。	"pppppppp" = ロードするプロジェクト名
Load selected Scene? "ssssssss"	選択したシーンをロードします。	"ssssssss" = ロードするシーン名
Load selected Take? "tttttttt"	選択したテイクをロードします。	"tttttttt" = ロードするテイク名
Loading Project ...	プロジェクトをロード中です。	
Loading Scene ...	シーンをロード中です。	
Loading Take ...	テイクをロード中です。	
Lost all power. Shutdown automatically in 20 seconds.	すべての電源がなくなりました。20秒後に自動的にシャットダウンします。	
Make new scene? "ssssssss"	新規シーンを作成します。	"ssssssss" = シーン名
Make Scene failed	シーンの作成に失敗しました。	
Making Scene ...	シーン作成中です。	
Mark Point set	マークポイントが作成されました。	
New Scene Name must not start with "@"	シーン名が不適切です。シーン名に@は使えません。	
No Call Point	コールポイントが存在しません。	

第 10 章 メッセージ

メッセージ	内容と対処方法	備考
No Mark Point	マークポイントが存在しません。	マークポイントが未登録状態でマークスキップ操作された。2秒で自動的に消える。
No Tracks Armed for Record	レコードファンクションがオンになっているトラックがありません。	
Operation failed.	何らかの原因で処理が実施できませんでした。	
Operation failed. Internal File / Folder limit reached.	作成可能な最大フォルダ数に達しているため、処理を実施できません。	
Operation failed. Cannot find this ***. Please Rebuild.	指定されたプロジェクト／シーン／テイクが見つからないため処理が実施できません。 リビルドしてください。	*** = Project or Scene or Take
Operation failed. Internal File / Folder limit reached.	作成可能な最大フォルダ数に達しているため、フォルダを作成できません。	
Operation failed. Path Name is too long.	規定文字数を超えるパス名のため、処理を実行できません。	PCで長いプロジェクト名やシーン名に変更されたあと、「Make Scene」や「録音」を実施した際にフルパス名が255文字以上になる際に発生。
Play Error.	再生エラーが発生しました。	
Play Error Buffer underrun	再生中、データ読み込み処理が間に合いませんでした。	
Power Off ? Touch OK to confirm	電源をオフにします。	
pppppppp SCENES : n Fs : f TIMECODE : t	プロジェクト情報表示	pppppppp = プロジェクト名 n : シーン数 f : サンプリング周波数 t : タイムコードフレームタイプ
Project Delete failed.	プロジェクトの削除に失敗しました。	
Project Load failed.	プロジェクトのロードに失敗しました。	
Project Rename failed	プロジェクト名の変更に失敗しました。	
Project save failed.	プロジェクトの保存中に何らかのエラーが発生し、保存できませんでした。 CLOSE キーでポップアップを消してください。 FATファイルシステムが壊れている可能性があります。 フォーマットをするか別のCFカードをご使用ください。 フォーマットをした場合は、記録されているデータは失われます。	
Reading Media ...	メディアを読み込み中です。	
Reading Data...	データ読み込み中です。	
Rebuild all Projects?	全てのプロジェクトを再構築します。	
Rebuild current Project?	現在のプロジェクトを再構築します。	
Rebuild current Scene?	現在のシーンを再構築します。	
Rebuild failed	再構築に失敗しました。	
Rebuild selected Project?	選択したプロジェクトを再構築します。	
Rebuild selected Scene?	選択したシーンを再構築します。	
Rebuilding All...	全てのプロジェクトを再構築中です。	
Rebuilding project...	プロジェクトを再構築中です。	
Rebuilding scene...	シーンを再構築中です。	
RECORD Error	録音中にエラーが発生しました。	
RECORD Error Buffer overflow	録音中に、録音バッファが一杯になりました。カードへの書き込み処理が間に合いません。	
RECORD stopped. Media Full.	CFカードの容量が不足したため、録音を停止しました。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
Renaming Project ""pppppp" to ""nnnnnn"	プロジェクト名を変更しています。	""pppppp"" = 旧プロジェクト名 ""nnnnnn"" = 新プロジェクト名
Renumber marks?	マーク番号振り直しを行います。	
Scene Copy failed	コピーに失敗しました。	
Scene Delete failed.	シーンの削除に失敗しました。	
Scene Load failed.	シーンのロードに失敗しました。	
Screen Locked Touch Panel Locked Out	タッチパネルは誤操作防止のためロックされています。	
Screen Locked LCD Section Locked	LCDセクションの操作子は誤操作防止のためロックされています。	
Selected take is in another project. Load that project and selected Take?	選択したテイクは別のプロジェクトのものです。	
ssssssss TAKES : n Fs : f TOTAL SIZE : u TOTAL TIME : t	シーン情報表示	ssssssss = シーン名 n : テイク数 f : サンプリング周波数 u : 使用容量 t : 全テイクの合計時間
Starting USB	USBモードを開始しています。	
Switched to AC Adapter.	AC電源に切り換えました。	
Take Delete failed.	テイクの削除に失敗しました。	
Take Load failed.	テイクのロードに失敗しました。	
There is no project. Please create a project.	プロジェクトが無いため録音できない状態です。 プロジェクトを作成してください。	
There is no scene. Please make a scene.	シーンが無いため録音できない状態です。 シーンを作成してください。	
This name already exists.	既に同じ名前のプロジェクト、シーン、またはテイクが存在します。	
Transport Locked Transport Keys are locked	トランスポートキーは誤操作防止のためロックされています。	
tttttttt date fs/bit/FileMode/NumOfTracks SIZE: u LENGTH: *h**m**s**	テイク情報表示	tttttttt = テイク名 date : 年/月/日 時:分 fs : Fs値 bit : bit数 FileMode : MONO or POLY NumOfTracks : Track数 u : 使用容量
Writing System File...	録音停止時に録音情報の書き込み中です。	

第11章 仕様

定格

記録メディア

CFカード (コンパクトフラッシュカード)

ファイルシステム

FAT32

ファイルフォーマット

BWF (モノフォニック、ポリフォニック)

チャンネル数

8チャンネル (44.1k/48k/88.2k/96kHz)

8チャンネル+2チャンネルステレオミックス (44.1k/48kHz)

4チャンネル (176.4k/192kHz)

量子化ビット数

16ビット、24ビット

サンプリング周波数

44.1k/47.952k/48k/48.048k/88.2k/96k/176.4k/192kHz (47.952k/48.048k : 48k 0.1%pull down/0.1%pull up)

クロックリファレンス

INTERNAL、WORD IN、VIDEO IN、DIGITAL IN (CH1-2/CH3-4/CH5-6/CH7-8)

タイムコードフレーム

23.976、24、25、29.97DF、29.97NDF、30DF、30NDF

内蔵マイク

無指向性、モノラル

リミッター

アタックタイム : 3msec

リリースタイム : 300msec

スレッシュホールド : -5dBFS

レシオ : 32 : 1

ローカットフィルター

カットオフ周波数 : 40Hz、80Hz、120Hz

スロープ : -12dB/OCT、-18dB/OCT

入出力定格

アナログオーディオ入出力

MIC IN/LINE IN 端子 (1-8)

コネクター : XLR-3-31 (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)

● LINE選択時

入力インピーダンス : 10k Ω

規定入力レベル :

• リファレンスレベル=-9dB設定時 : +6dBu (1.55Vrms)

• リファレンスレベル=-9dB以外に設定時 : +4dBu (1.23Vrms)

最大入力レベル (切換え) : +15dBu (4.36Vrms)、+18dBu (6.16Vrms)、+20dBu (7.75Vrms)、+22dBu (9.76Vrms)、+24dBu (12.28Vrms)

● MIC-25選択時

入力インピーダンス : 2.4k Ω

最小入力レベル : -45dBu (4.36Vrms)

最大入力レベル : +11dBu (2.75Vrms)

● MIC 0選択時

入力インピーダンス : 2.4k Ω

最小入力レベル : -70dBu (0.25Vrms)

最大入力レベル : -14dBu (0.15Vrms)

LINE OUT 端子 (L/R)

コネクター : XLR-3-32 (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)

出力インピーダンス : 100 Ω 以下

規定出力レベル :

• リファレンスレベル=-9dB設定時 : +6dBu (1.55Vrms)

• リファレンスレベル=-9dB以外に設定時 : +4dBu (1.23Vrms)

最大入力レベル (切換え) : +15dBu (4.36Vrms)、+18dBu (6.16Vrms)、+20dBu (7.75Vrms)、+22dBu (9.76Vrms)、+24dBu (12.28Vrms)

PHONES 端子

コネクター : 6.3mm (1/4') ステレオ標準ジャック

最大出力レベル : 100mW+100mW以上

(THD+N 1%以下、32 Ω 負荷)

デジタルオーディオ入出力

DIGITAL IN/OUT 端子

コネクター : D-Sub 25ピンコネクター

最小入力電圧 : 200mVp-p

最大入力電圧 : 7Vp-p

出力電圧 : 3.5Vp-p

フォーマット : AES3-2003/IEC60958-4 (AES/EBU)

DIGITAL OUT 端子

コネクター : BNCコネクター

出力電圧 : 1Vp-p/75 Ω

フォーマット : AES3-2003/AES-3id-2001 (AES/EBU)

コントロール入出力

EXT DC IN 端子

コネクタ : XLR4-32 (1: -, 2: NC, 3: NC, 4: +)
 入力電圧 : 11-16V (2A)

CASCADE/WORD/VIDEO IN 端子

コネクタ : BNCコネクタ
 入力電圧 : 5V TTL相当
 入力インピーダンス : 75Ω ± 10%
 外部同期時の許容周波数偏差 : ± 100ppm

CASCADE/WORD OUT 端子

コネクタ : BNCコネクタ
 出力電圧 : 5V TTL相当
 出力インピーダンス : 75Ω ± 10%
 サンプリング周波数 : 44.1k/47.952k/48k/48.048k/88.2k/96k/176.4k/192kHz (47.952k/48.048k : 48k 0.1%pull down/0.1%pull up)

TIME CODE IN 端子

コネクタ : BNCコネクタ
 入力電圧 : 0.5V~5.0Vp-p
 入力インピーダンス : 10kΩ

TIME CODE OUT 端子

コネクタ : BNCコネクタ
 出力電圧 : 2.0Vp-p
 出力インピーダンス : 600Ω

USB 端子

コネクタ : USB Bタイプ 4ピン
 フォーマット : USB2.0 HIGH SPEED (480MHz)

KEYBOARD 端子

コネクタ : ミニDINコネクタ (PS/2)

オーディオ性能

周波数特性

INPUT (MIC/LINE) → LINE OUT :
 20Hz~20kHz : 0dB ± 0.5dB (Fs=ALL)
 20Hz~40kHz : -1dB ± 1.0dB (Fs=88.2k/96kHz)
 20Hz~80kHz : -3dB +1.0dB/-2.0dB
 (Fs=176.4k/192kHz)

歪率

INPUT (LINE) → LINE OUT : 0.003%以下
 (リファレンスレベル=-20dB設定時、+23dBu入力、1kHz、AES-17LPF)

INPUT (MIC-25) → LINE OUT : 0.02%以下
 (リファレンスレベル=-20dB設定時、-10dBu入力、トリム+20dB、1kHz、AES-17LPF)

INPUT (MIC 0) → LINE OUT : 0.02%以下
 (リファレンスレベル=-20dB設定時、-35dBu入力、トリム+20dB、1kHz、AES-17LPF)

S/N比

INPUT (LINE) → LINE OUT : 110dB以上
 (22kHzLPF A-weighted)
 INPUT (MIC-25) → LINE OUT : 100dB以上
 (22kHzLPF A-weighted)
 INPUT (MIC 0) → LINE OUT : 100dB以上
 (22kHzLPF A-weighted)

動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) ご確認ください。

Windows マシン

Pentium 300MHz 以上
 128MB 以上のMemory
 USBポート (USB2.0)

Macintosh マシン

Power PC G3、G4、Intel Mac 266MHz以上
 64MB以上のMemory
 USBポート (USB2.0)

推奨 USB ホストコントローラー

Intel製チップセット

サポート OS

Windows XP、Windows Vista、Windows 7
 Macintosh Mac OS X 10.2 以上

一般

電源

AC100-240V、50-60Hz (TASCAM PS-1225L)
 単3形電池10本 (アルカリ乾電池またはニッケル水素電池)
 NPタイプバッテリー (ニッケル水素電池、リチウムイオン電池)
 外部DC電源 (DC11-16V、2A以上)

電池持続時間 (連続動作時)

NPタイプバッテリー (リチウム・イオン: 14.8V/4.6Ah (68W))
 約5時間 (JEITA 再生時間)
 約5時間 (JEITA 録音時間)
 単3型充電池 (ニッケル水素)
 約2時間 (JEITA 再生時間)
 約2時間 (JEITA 録音時間)

- 48kHz、24bit、8ch、ファントム電源オフ時
- 使用状況により変動する事があります。

消費電力 : 18W

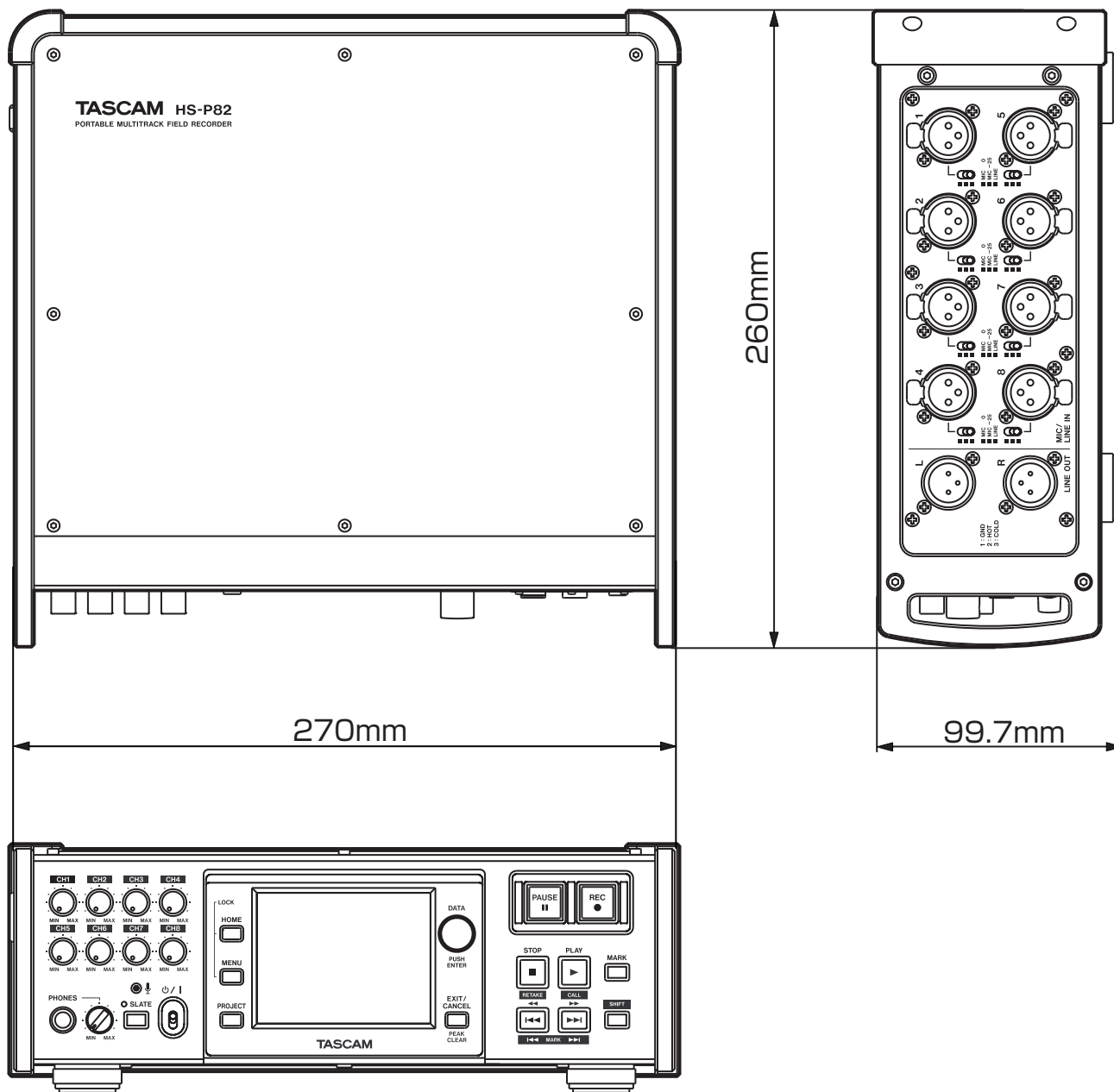
外形寸法

270 x 99.7 x 260mm (幅 x 高さ x 奥行き、突起部含まず)

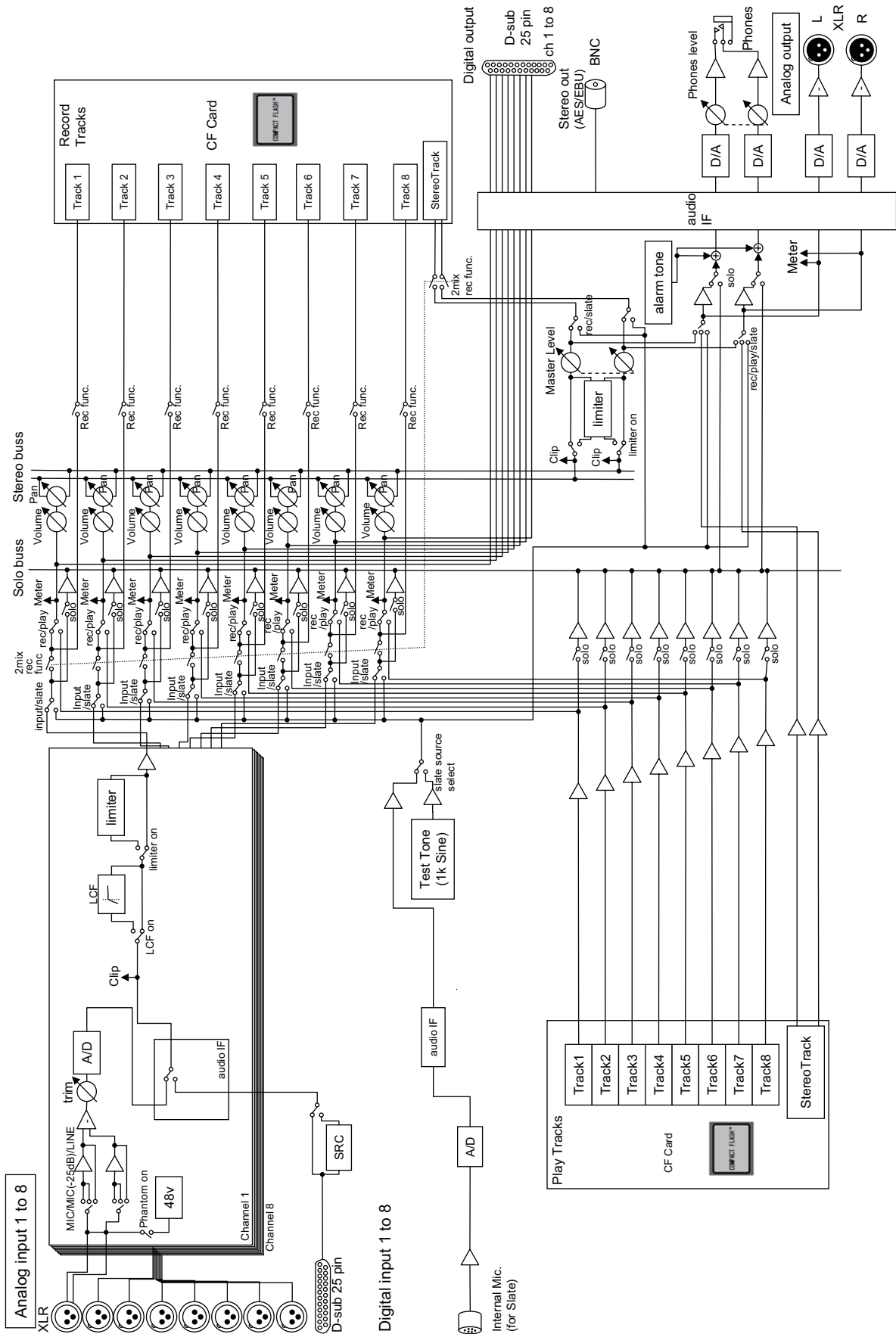
質量 : 3.65kg (電池を含まず)

動作温度 : 0 ~ 40℃

寸法図



ブロックダイアグラム



この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00/13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-8



ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。

このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
<http://www.tascam.jp/>